昭和九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

夕刊
十月三日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三二〇五 營業局專用③三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 永越內之介

山東省境闕門突破は今や只だ時間の問題

中央軍運河により退却中

【天津三日發國通】津浦線德州一帶に蟠居する中央軍と北方より潰走し來りし二十九軍の敗殘兵との合流部隊は皇軍の果敢な猛追擊に早くも逃げ腰に出たが、中央軍の大部分は軍用小型民船を連ね運河によつて西南方に向けドシドシ移動しつゝあり、現在德州城内には二十九軍の敗殘兵がゐるのみで山東省境の闕門奪取陷落は全く時間の問題となつた

德州の裝甲列車を爆破

敵退路を完全に斷つ

【〇〇根據地にて三日發國通】去月廿四日敵の死守した津浦線の要地滄州を陷落せしめ敵を猛追中のわが地上部隊は、早くも山東省の要地德州に迫つてゐるが、〇〇根據地にあるわが空軍部隊は一日午後退却する敵の退路を斷つべく出動、笹尾隊、倉持隊の〇〇機は各〇〇機編隊、續く島谷部隊も〇〇機編隊にて長驅德州上空に向ひ、午後三時廿分各編隊は相前後して德州驛上空に達し、敵の裝甲列車目がけて猛烈な爆擊を敢行、これを大破或は顚覆せしめ、完全に敵の退路を斷ち午後四時五十分頃全機無事歸還した、この猛烈な空爆により德州驛は大混亂を來し又敵が生命の綱と頼んだ裝甲列車は全く潰滅の狀態に陷つた、わが地上部隊の德州入城も目睫の間にありとみられてゐる

三度び、大擧石家莊を空爆

【〇〇根據地三日發國通】敵の難攻不落と誇つた保定を何の苦もなく陷れ、さらに旬日を出でずして新樂を攻略、行く所敵なき平漢線上のわが部隊はさらに石家莊に向つて敵を急追してゐるが、わが軍に追はれて支那軍は今や石家莊の防備を固め皇軍邀擊に備へてゐるといはれてゐる、二日某所より達した情報によれば、退却する支那各軍の要人は石家莊の某所に集合、密議を凝してゐることが判明、〇〇根據地にあるわが空軍部隊はその全力をあげて三度長驅石家莊の爆擊を敢行した、二日午後三時笹尾隊、倉持隊の〇〇機、島谷部隊の〇〇機は各〇〇機編隊にて勇躍〇〇根據地を出發し、途中〇〇〇において加藤部隊の〇〇機と合し、敵空軍襲來せば一氣にこれを擊ち墜さんと〇〇機のわが軍用機は銀翼に秋の夕陽をあびて南下石家莊に到り敵の空軍を制壓して午後四時廿分多數の爆彈を投じ敵軍の根據地を爆擊潰滅せしめた

察南大部の治安確保

國軍宣化に入城

【赤城二日發國通】長城の險を擁して頑强に抵抗する敵兵を擊退、去る八月廿九日赤城に入城した滿洲國軍〇隊は爾來月餘に亘り察南大部の治安工作を一手に引受け敗殘兵の掃蕩、民心の安定、兵站線の確保に大童の活躍を續けて來たが、この努力により同地一帶の治安は最近ほゞ確立を見るに至つたので、同隊司令部ならびに顧問部は一日朝赤城を出發午後宣化に入城した、なほ同隊主力も近く宣化に集結を見る筈である

味方の彈に破壞された孫文の銅像（上海市政府前）

支那空軍の爆擊で米人負傷

【上海二日發國通】一日夜支那軍の爆擊で鷄卵輸出商ホーデン商會アメリカ人H・カメロン氏は重傷を負つた

有志代議士會 從軍記者に感謝決議

【東京國通】衆議院の對支問題有志代議士會は二日午後一時總會を開き、山本悌二郎、山道襄一、大竹貫一、清瀨一郎諸氏ほか四十五名出席、陸軍省柴山軍務課長より戰況の說明を聽取した後

容共南京政府を打倒し斷乎侮日抗日を一掃して支那の反省を促すの强硬態度を堅持邁進すべし

との聲明書ならびに從軍新聞通信記者に對する感謝文を全會一致可決し、更に皇軍慰問特派を決定し、同三時散會

▲從軍記者に對する感謝決議要旨

支那事變に從軍の新聞ならびに通信記者および寫眞班の活動に對し絕大なる感謝の意と深甚なる尊敬の情とを表明す、諸君は軍と共に生死の間に入りて毫も顧るところなく戰況の推移を速報し、戰士の忠勇を詳錄して國民に告ぐ、諸君の通信を讀みて感謝の淚を流さざるものなし、國軍の士氣これがためあがり銃後の支援ます〱固し、今次事變はその形においては武力戰なるもその實質においては實にソ聯の全世界赤化に對する陰險なる思想戰なることを知らざるべからず、こゝにおいて文筆報道の重大なるは言をまたざるところなり今後とも一層發奮してこの重大なる任務の遂行に邁進せられんことを希望す

對支投資の全滅を恐れ

英國調停の意向

【ジュネーヴ二日發國通】支那代表部は一日夜來各國代表を歷訪して是非とも日本を侵略國と斷定する決議を二日の十二ケ國小委員會で通過するやう狂奔してゐるが、英國側は蔣政權の沒落による對支投資の全滅を極度に恐れ適當な機會に調停に出る意向らしく支那も全面的敗退以前に日本との交渉を開始したい希望の模様で密にさぐりを入れてゐるらしい

上海放棄の證左

四銀行の南京移轉

【上海三日發國通】上海に本據を有する中央、中國、交通及び中國農民の四銀行の南京移轉は何分にも中國金融中樞の總括的移轉のため多大の關心を拂はれてゐるが、右は馮玉祥系の策動と見られ、戰時幣制金融統制を强行し、紙幣を濫發して軍費に充當せんとの意圖に出たものといはれてゐる、しかして政府首腦部、財閥等はこれを利用して資金の國外逃避を圖ること必至で何れにしても右命令は中央か

わが軍に依る上海包圍體形の進展に伴ひ中國經濟の中樞としての上海に見切をつけ、上海放棄の決心を固めた證左として頗る注目されてゐる

蘇家宅陣地に殺到

敵を漸次南方に壓迫

【〇〇前線にて三日發國通】永津部隊は濟家宅を占據せるを皮切りに進擊を開始し、蘇家宅に據る敵大部隊に潰滅的大打擊を與ふべく飛行隊、砲兵隊掩護のもとに進擊中であるが、さらに永津部隊は張家角附近より進出せる新鋭の〇〇部隊と濟家村、吳家橋の線において江南戰場における再度の歷史的握手を行ひ、兩部隊はこれにより密接な連絡を保持しつゝ蘇家宅、地陸宅の陣地に殺到、敵を漸次南方に壓迫中

嚴家宅を占領す

【〇〇前線にて三日發國通】〇〇部隊は二日朝來勇躍西進を開始し、淺間部隊は嚴家宅を、荒木部隊は濟家宅を二日正午過ぎ完全に確保し、退却中の敵をさらに追擊中

砲兵隊猛威を發揮

【上海二日發國通】艦隊報道部午後九時發表＝(一)海軍航空隊は二日專ら陸軍部隊と協力して終日反復して嘉定、大場鎭、劉家行方面の敵陣地を爆擊して敵に大損害を與へた、この日午前九時頃劉家行附近新涇の敵陣地を爆擊中の三等航空兵曹篠原菫夫、一等航空兵室井三五郎乘組の一機は急降下爆擊の中途より火焔を發しそのまゝまつしぐらに敵陣地に突入して壯烈極まる戰死をとげた(二)陸戰隊佐野、土師兩部隊は前日に引續きつぎ〱に敵陣地を奪取しつゝ閘北の敵を西方に壓迫しつゝあるが、この日佐野部隊の脇坂兵曹長は自ら陣頭に立つて部下の小隊とゝもに敵が堅壘と恃む印度人教會に突入猛烈な手榴彈戰の後教會を占領して商務印書館の敵と相對峙してゐる、二日わが砲兵隊は最も猛威を振るふ共同租界子路のわが攻擊の至難の地點にある敵の本據鐵路管理局に猛擊を浴せ、その正確なる着彈はよく敵に大なる損害を與へた

大場鎭に肉薄

【上海三日發國通】劉家行、顧家宅方面の地區を潰滅したわが田上、石井、川並三部隊は二日陸海空軍掩護爆擊の中を約三粁距てた白陽宅、王宅中興宅の線まで進出、引續き二日午前九時を期し攻擊前進に移り同十時半には大場鎭北方四粁の線に肉薄した

下枝部隊 陳家宅、邵家宅を占領

【上海三日發國通】下枝部隊は二日早朝から敗走する敵に急追擊を行ひ脇坂部隊と協力二日正午陳家宅および邵家宅を占領、一方新鎭の伊佐部隊も劉家行西方一キロの地點鎭家宅まで進出した

三日朝までの各地戰況

△平綏線方面 察哈爾作戰軍に協力する内蒙軍は二日午後四時百靈廟を占領一方泱河の勢で雁門關一帶の長城線を突破した皇軍は寧武、寧縣、五臺の線に進擊した、同蒲線終點原平の敵は早くも浮足立つて首都太原方面に潰走中で太原陷落も旬日の間に迫つた、かくて察哈爾作戰軍の功績はナポレオンのアルプス越にも比すべく戰史の上に燦として輝く

△平漢、津浦線方面 平漢線新樂の陣地を捨てた敵軍は石家莊方面に向け退却中にして平漢線方面部隊は左翼獻縣方面の皇軍と緊密なる連繫を保ちつゝ河北平野をひた押しに南下掃蕩中、又津浦線南下部隊は山東省境を突破して德州縣城に迫つた、空軍部隊も昨日來縣城内を猛爆中にして、敵は全く戰意を喪失したるものゝ如く、德州陷落は時間の問題となつた

△上海方面 壯烈なる陸戰隊の北四川路方面攻擊に、三ケ月餘にわたつて抵抗を續けてゐた敵は二日午後四時遂に閘北方面に後退を開始した、陸戰隊は壯烈なる市街戰を展開しつゝ着々要地を確保しつゝ上海北部戰線においても各部隊の進擊物凄く劉家行の陣地はすでに皇軍の手中にあり顧家宅、陳家宅、嚴家宅、中興宅、新家宅、李九房も二日すでにわが馬蹄の蹂躪する所となつた、支那軍は遠く貴州、雲南の雜軍をも戰線に立てゝ最後の抵抗を行つてゐる

保定治維會結成

復興工作開始

【保定二日發國通】保定地方治安維持會結成式は二日午前十時半から城内の天主堂で擧行され、谷森特務機關長の訓示に次いで委員長の白子輿氏の答辭あり、早くも復興工作のスタートが切られた、同會では三日は警察隊を組織するほか野菜市場、屠殺場、罪人收容所、防疫施療等各種の施設に着手する筈、又電燈も二日拂曉より復活、市街は元の活氣を着々取戾しつゝある

内蒙軍百靈廟占領

【平地泉二日發國通至急報】内蒙軍は二日午後四時百靈廟を占領せり、なほ同軍は餘勢を驅つて綏遠に進擊中

軍首腦部確信を抱く

人數減少するとも我攻擊力鈍らず

【上海二日發國通】連日の苦鬪の結果遂に田上部隊は一日劉家行鎭を占據、二日も引續き南下攻擊を續行中であるが同部隊が劉家行まで進擊する四、五日前金家衖において深刻なる苦戰をなめてゐるのである、當時前面の敵は廣東軍の兵多く戰意極めて熾烈で、一日に數回の逆襲を試み來り田上部隊はこれを引受けて勇戰苦鬪したが、麾下部隊には非常な損害を受けた部隊もあつたがすこしもひるむことなく攻擊に次ぐ攻擊と、連日急追の手をゆるめず、上陸以來全く休憩もとらずたゞ猛攻を繼續し、一意に劉家行鎭を陷落せしめたのである、この田上部隊の勇壯極まる戰鬪經過より見て日本軍は假令五名十名の少數となつても攻擊力は決して鈍ぶることなく、戰意は依然旺盛なることが證明された譯で、軍首腦部もわが軍の戰鬪力にいよ〱確信を抱くに至つた

日本軍と戰ふ力 英米共になし

英軍事評論家羅府で放送

【ロスアンゼルス一日發國通】著名の英國軍事評論家フレッドリック・オースチン氏は世界漫遊の途ロスアンゼルスに立寄りラヂオを通じ東洋時局談を試み一日附の新聞に掲載されたが、その放送の要旨左の如し

英米何れにしても若し日本と戰へば國家の富源を蕩盡してかゝらねばならぬ、賢明な兩國がそんな大それた事をする筈はない、日本を制せんが爲には米國は大武裝船隊を送らねばならぬが日本に到着前に潛水艦及び飛行機に擊沈される可能性が多い、また軍艦も距離の關係上必勝を期待し得ない英國にしてもシンガポールに據つて日本へ大艦隊を送ることは不可能で、たとへ可能としても大した戰鬪力はない、日本は世界無敵だ北支の日本軍は破竹の勢だ

上海では支那軍が堅固な陣地に據つてゐるためあまり進捗しないやうだが、支那軍後方輸送機關の連絡を斷てば支那軍は潰滅に歸したも同様だ

なほオースチン氏は近くサンフランシスコ出帆の便船で日本へ向ふ豫定である

人事往來

出發

▲上野信夫氏（官吏）同
都ホテル
▲小利池亮氏 二日發奉天へ
▲柏原一馬氏 同大連へ
▲樋口一夫氏 同營口へ
▲一ノ瀨平次氏 同內地へ
▲津志田絹氏 同奉天へ
▲荒木吉松氏 同哈市へ
▲阿山毅一氏 同大連へ
▲中野均氏 同牡丹江へ
▲古泉榮氏 同哈市へ
▲名取幸二氏 同奉天へ
▲下田一夫氏 同
▲本田兵輔氏 同
▲野口遵氏 同京城へ
▲村尾軍孝氏 同哈市へ
▲佐方文次郎氏 同奉天へ
▲森鷹三氏 同
▲加賀要助氏 同內地へ
▲鈴木善助氏 同
▲豊島由喜男氏 同
▲遠藤久藏氏 同
▲海野昌男氏 同京城へ
▲稻見次郎氏 同
▲羽泉清一郎氏 同
▲桑田稔氏 同
▲栗田利平氏 同
▲水野寅雄氏 同內地へ
▲熊田竹雄氏 同
▲荒木榮一氏 同奉天へ
▲福持壽雄氏 同哈市へ
▲三橋楠一氏 同
▲內藤十郎氏 同奉天へ
▲井出一喜氏 同哈市へ
▲西谷實三氏 同大連へ
▲三浦福藏氏 同吉林へ
▲田中寬氏 同哈市へ
▲林茂氏 同
▲中田耕作氏 同牡丹江へ
▲森豊太氏 同哈市へ
▲下河原金平氏 同

着京

▲我妻一郎氏（滿洲航空會社）二日來京國都ホテル
▲山崎陣平氏（銀行員）同
▲富田規矩治氏（同）同
▲山下茂男氏（會社員）同都ホテル
▲小西幸次郎氏（商業）同
▲佐藤忠雄氏（毛皮商）同
▲石井清氏（會社員）同ヤマトホテル
▲園田勝一氏（官吏）同
▲吉野治夫氏（記者）同國都ホテル
▲高木信一氏（官吏）同
▲金庭秀雄氏（日滿パルプ會社）同
▲北茂一氏（華北煙草會社）同
▲高田運次郎氏（銀行員）同
▲前澤一義氏（同）同
▲加藤彌六氏外二十六名（吉林師範學校）同富士屋旅館
▲丸田廣介氏（湊川工廠）同中央ホテル
▲今村知光氏（材木商）同向

その日〱

□皇軍疾風迅雷の南下に支へきれず德州城内早くも浮足立つ！

□狼狽した要人連が上海戰線の支那軍をけし立てる、どうせヘナチョコ連の集り、北上したとて屁のつゝぱりにもなるまいが

□ヤア〱遠からんものは……と掛け聲だけは心得てゐる本當に勇氣があつたら近く出合へ〱

□石家莊に又痛彈見舞ふ、もぐらもちの要人連アッと驚愕ホンに廣い支那に隱れ場もない

□頼る英米も靜觀を表明、只道は赤府へ通ずるか、沙漠を渡る秋風は寒いぞ

爽空截るスリルに 天翔く若き荒鷲

全滿選拔の會員六十餘名が けふ晴れの初爭覇

グライダー大會始る

未來の荒鷲を以つて任ずる若きパイロットの夢を乗せた全滿選拔の會員六十名が技を競ふ滿洲では初めての第一回グライダー競技大會は十月三日午前八時から新京南飛行場で擧行された、前日の時雨名殘りなく晴れて紺碧の空は飽くまで高く絶好の飛行日和である、會場には純白の翼を旭日に輝やかした使用機十二台が正に羽ばたきせんずの態勢を整へて待機してゐる、晴れの競技に支部の名譽を双肩に擔ふ若きパイロット六十名は飛行服に身を固め所定の位置に集合非常時局を映じて中には二人の女性を交へてゐるのも心强さを感じさせる未來のパイロットを夢みる新京航空少年團五百餘名は團旗を先頭に續々入場、一方本大會の役員大橋大會長、李顧問、平井出評議員、皆川委員長、關屋、阿久津副委員長、内海二朗氏以下委員審判長、各審判委員等役員着席すれば午前八時碧空に炸烈する五段雷を合圖に莊嚴なる入場式は開始された、滿洲國軍樂隊の吹奏により一同日滿國旗は會員の手にてするするとポール高く掲げられる、次いで皆川大會委員長の開會の辭、李交通部大臣の式辭があつて大橋大會々長別項の如き訓示を述べそれに對し會員を代表して伊木貞雄氏宣誓を行ふこの時日本航空の日滿連絡機〃榛名〃號が今日の大會を祝福するが如く式場上空に純白の巨軀を輝やかして一周して南に飛び去つた、かくて午前八時四十分よりプライマリー機による直線滑空競技に移り今西審判長、西尾、都築、加藤、坂川、島田各審判員審判の下に一組關東州支部十五名、奉天支部十五名、二組新京支部十五名、哈爾濱支部十五名の二つに分れて開始され數千の觀衆の視線を一身にあつめて純白の彼女は次々と弧線を描いて青空のもと勇壯なる競技を展開した、この日會場には田中交通監督部長、伊藤警備司令官を始め滿洲國平井出交通部次長、飛行場役員、航空少年團役員等來賓其他一般參觀者等續々と詰めかけ身動きならぬ雜沓を極めた【寫眞はグライダー會場と女性會員曹敬宗さん（右）とフローロアニーナ（左）さん】

先驅者への期待大 大橋大會々長の訓示

本日茲に第一回全滿グライダー競技大會開催に際し大會出場諸賢に對し所懐を述ぶるは余の光榮とする所なり宜しく諸賢は左の諸項を留意し遺憾なきを期すべし

一、滑空機操縦に當りては常に身心の緊張を必要とする事は勿論なるも殊に斯種競技會に在りては徒らに競技心を起し技倆以上の操作を行ふ事あるを以て特に此點に留意し不斷の緊張と冷靜を保持し各員の有する最大限の技倆を發揮するを要す

二、滑空術訓練に於て最も必要なるは嚴格なる規律なり而して本競技會に於ける競技開始出發其他の事項は審判員之を行ふを以つて會員は欣然之に服從し終始統制ある規律の下に卓拔なる成果を擧ぐるを要す

三、滑空技術に於ては各種事象に依り危害を惹起すること無きを保し難し而も滑空機將來の進歩發達を極度に阻害するものは斯種の事故發生なり事故の原因は身心の弛緩器材の不備研究の不足等なり各員周到なる注意を以て危害の防止に努むるを要す要するに各員は現代全滿滑空界の先驅者として本大會に參加したるものにして斯界の發達進展は實に諸員の双肩に擔ふべき責務なりとす宜しく自重自愛全幅の努力を以つて遺憾なく有終の美を發揮せんことを切望して止まざるなり聊か所懐を述べて訓辭となす

康德四年十月三日
第一回全滿グライダー競技大會々長　大橋忠一

有終美を期す 參加員代表の宣誓

本代表は第一回全滿グライダー競技大會開催に際し賜りたる閣下各位の懇篤なる訓辭を體し我等に課せられたる崇高なる使命を想ひベストを盡して有終の美を擧げスポーツマンシップの發揚に努め以て各位の輿望に應へんことを期す敢て宣誓す

康德四年十月三日
第一回全滿グライダー競技大會參加員代表　伊木貞雄

多嘉王殿下の御薨去に 張總理御弔電

久邇宮多嘉王殿下薨去の報に接し張國務總理は二日午後一時廣田外相宛て左の如き弔電を發した

久邇宮多嘉王殿下薨去の御趣き洵に恐懼哀悼の至りに堪へず、茲に滿洲帝國政府を代表し深甚なる弔意を表し奉る
右しかるべく御執成を乞ふ

滿洲帝國國務總理大臣　張景惠
外務大臣　廣田弘毅殿

なほ星野總務長官よりも久邇宮家蒲田事務官宛に左の弔電を發した

多嘉王殿下薨去の御趣き洵に恐懼哀悼の至りに堪へず謹みて深甚なる弔意を表し奉る
右しかるべく御言上を乞ふ

國務院總務長官　星野直樹
久邇宮家　蒲田事務官殿

からり晴れた日曜日 浄月潭へ、土們嶺へ人出殺到 逝く秋の戸外風景

降り續いた雨も三日の日曜はカラリと晴れて雲影一つない滿洲晴れだ、氣温も日中に入りぐんぐん上つて十時には十度三分、午後は更に上昇して二時頃には十七、八度に達する見込みで全滿の天候は大連及び西部國境一部の降雨を除けば全部快晴實に見事な秋晴れとある、新京では當分この快晴が續く見込み、この絶好な行樂日和に惠まれた市民は競馬にグライダーに或は又本社後援浄月潭探勝會、土們嶺の芋掘りに、家族連れで紅葉の公園にと晩秋の名殘りを惜んで戸外へ！戸外へ！と繰り出し文字通り國都の家根の下は空つぽだ、本社後援の浄月潭探勝會は國都建設局前、土們嶺行は新京驛から午前十時それぞれ出發したが發車間際迄申込み殺到特に配車を都合する等大變な騷ぎであつた【寫眞上は浄月潭出發の一行と下土們嶺芋掘り出發の一行】

新京放送局が 防寒講座開設 五日から月末迄開始

新京放送局では十月五日から月末まで毎週火、木、土の家庭講座（午前十時から同二十五分迄）の時間を利用して全滿に防寒特輯講座放送を行ふことゝなつた、なほ同講座のプログラムは次の如くである

△住居の巻　五日、九日、滿洲における住宅の防寒設備と保健上の問題、滿鐵衛生研究所醫學博士田中文侑、（大連）
△衣服の巻　七日、毛皮の上手な選び方、澤井文三、十二日、子供の防寒服色々、中江正次郎（新京）
△衛生の巻　十六日、冬季保健上の諸問題、哈爾濱日本赤十字病院長、醫學博士西山啓吉、十九日演題同前、哈爾濱日本赤十字病院外科醫長醫學博士下妻堅太郎（哈爾濱）
△參考の巻　十四日、二十一日冬と滿洲の家庭、林克馬（奉天）
△燃料の巻　二十三日、二十八日、家庭煖房の知識と燃料の合理的な焚き方、大連市役所衛生課吉村清治（大連）
△食物の巻　二十六日、未定（新京）
△整容の巻　三十日、冬のお化粧と着付け、德永千代子（大連）

哈市、奉天、錦州にも 振替口座を開設 全滿受拂簡易化さる

郵政總局が昨年十二月より實施した振替貯金制度は日滿經濟關係の緊密化とともに利用者漸増し九月三十日現在では口座番號千九百七十一、口座數千九百十の多きに達し九月中の振替受拂金は約八十萬圓に上つてゐるが郵政權移譲後には關東遞信局管下の奉天、大連の各振替口座が移管されるので之を機會に郵政制度全般の運營を合理化して公衆へのサービス向上を圖るべく過般關東遞信局、郵政總局、日本遞信省より各關係者出席のもとに現地協議會を開催して研究の結果、十一月より新たに哈爾濱管理局に振替口座を新設し、更に十二月には奉天錦州に振替口座を設けることゝなつた、この結果從來全滿各地の滿洲國振替貯金は總て新京儲金科を經由して受拂が行はれてゐたのが前記各地に分たれるので所要日數が著しく短縮されるので振替貯金は一段の躍進をなすものと期待される、なほ滿洲の振替貯金一口の九月平均受入高は百六十圓拂出二百圓で之を日本の一口受入高平均百圓拂出百三十圓に比較すると六割方高率にあるがこれは振替貯金の普及になほ充分の余地がある證左であり郵政權移譲後には低下するものとみられる

安奉線ダイヤ 五、一二列車は當分運轉中止

一時臨時列車をもつて運轉してゐた安奉線ダイヤは既報の如く來る五日より舊ダイヤに復活運轉することゝなり新京―釜山間の急行「ひかり」及奉天―釜山間の「のぞみ」其他各列車とも定時奉天驛を發車するが、四日の新京發釜山行急行列車一一〇八列車は新京發午後五時三十五分、奉天發午後十時卅十分で八列車となり安東まで現行通り運轉し以後は舊八列車の時刻をもつて運轉、また午前十時十分奉天發五二列車および安東發五一列車は當分運轉を中止することゝなつた

日滿蒙各軍に 感謝文打電

十月一日午前七時吉林神社境内の國旗掲揚式終了後當日參加せる官廳一般市民は期せずして北支および南支に轉戰する皇軍および滿洲國、蒙古軍等に感謝電を發送することを決議し、參會者八百名の赤誠を披瀝して感謝文を決議直ちに關東軍司令官、北支駐屯軍司令官および滿洲國軍、蒙古軍に打電した

爲替管理令改正 愈よ二十日頃實施

滿洲國政府では豫て日本の對滿投資を促進せしめる見地から爲替管理を日本と同程度まで强化することにつき立案を進めてゐたが、いよいよ爲替管理令の改正を斷行するに決定し來る廿日頃より實施する筈である、改正の内容は一般爲替管理規定については日本同様の强化を行ふとゝもに貨物輸入爲替に對しても許可制を施行しその許可限度を一ヶ月を通じ金額千圓とすることになつた、しかして管理令の改正により滿洲國の資本逃避は完全に防止し得ることゝなつたので現在日本の爲替管理省令によつて許可を要する對滿送金はこれを機にその許可制を撤廢して對滿投資の圓滑化を圖ることゝなり滿洲國の管理許可實施を機に日本の爲替管理省令の改正が行はれる筈である

松田煖房商から 國防献金

特別市西七馬路五番地松田煖房商會松田喜六氏は時局に鑑みて三日午前十時頃領警署を訪れ金百圓を國防費に献金申出あり、同署では直ちに献納手續きをとつた

滿洲醫大診療班 張家口で活躍

【張家口二日發國通】過般特務機關の招聘に應じ張家口に急行した滿洲醫科大學診療班は同地到着とゝもに直ちに診療所を設け内科、外科、眼科小兒科、皮膚科、耳鼻科、婦人科の各分科に亘つて無料で診療を開始したが、衛生機關の不備と醫藥の高價を喞つてゐた同地市民にとつては一大福音で醫師の懇切な診療と相俟つて非常な好評を博し、市民は心から感謝の念を捧げてゐる

煤煙防止委員會 軍當局と懇談

煤煙防止委員會では二日午後一時より軍司令部會議室に於て本年度の煤煙防止方針の徹底を圖るための講演映畫會等に關し軍當局者と種々協議するところあつた

生首騷ぎ

三日午前十一時頃領警署ののんびりした日曜の雰圍氣を破つて『人間の生首があります場所は特別市建和胡同二〇四櫻井愛司方の前ゴミ箱の中に』と慌たゞしい電話にスワと岩田、猶薬兩刑事は直ちに現場に駈けつけたが、檢證の結果はなんだ生首にあらず古びた頭蓋骨一箇、張り切つた兩刑事氣拔けの態に引上げたがとんだナンセンスに日曜の署内を騷がした

新京署庭球部 納會庭球

新京署庭球部では三日午後一時より署内コートに於て本年度の署員納會庭球大會を開催藤島署長は斯道奬勵の意味に於てB、C組に對し各々一對の優勝盃を寄贈これを繞つて同署本年掉尾の爭覇戰が庭球日和の絶好のコンデションに惠まれ張り切つた署員により展開された

國政記者クラブ 吉林視察

國政記者倶樂部員一行は二日午後一時二十五分新京發、吉林に赴いた、同地で監獄その他を視察一泊して歸京する

政府軍對京商 ラグビー戰

政府軍對新京商業ラグビー試合は二日午後五時半より電業グラウンドで近藤主審のもとに擧行、政府軍前半一三―八後半一一―三、結局二四―一一の壓倒的優勢を示し勝つ

本阿彌師刀劍鑑定賑ふ

さすがに本阿彌氏も吃驚したといふ痛快な話、昨夜は旅館で鶴井之一郎氏の山ノ内正宗を見て今朝は田中要次氏の正宗の刀の箱書をした饒村佑一氏の秋廣に折紙、衣川水門氏の四谷正宗と云はるゝ源清麿の名刀に折紙をかき民國次といふ珍刀を見、更に手塚光雄氏の吉光、岸喜四郎氏の青江次も赤折紙、中谷孝一氏の長光、厚海半次郎氏の會津藤四郎、平井一氏の肥前正廣、佐藤倉之助氏の祐内、竹内兼備氏の志津三郎兼氏等に大札小札の證明書をかくと云ふ一日に五百本、よなべに百五十一本は鑑定するといふ一時間に五十本といふレコード當年六十三歳の老翁一寸見ては五十歳位だ其活眼と絶倫なる精力は驚異に値する

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇聯隊歌▲七・四〇琵琶（東京）豊田旭▲八・一〇ピアノ獨奏（東京）▲八・三五ラヂオ社會面（大阪）▲八・九・〇〇長唄「船辨慶」（東京）坂田仙八外

演藝映畫

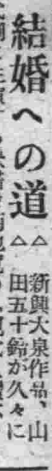
協和會シナリオ
十一月上旬に當選者發表

協和會では滿洲國建國映畫「思想篇」のシナリオを五月より募集し、八月末發表の豫定のところ支那事變發生と新家屋竣工移轉等のため豫定の八月末には發表出來ず目下滿洲ならびに日本内地よりの多數の應募作を審査中で、遲くとも十一月上旬までには發表される筈である

獨佛、傑作が待機
東和商事在庫品

東和商事では、今回の事變前すでに秋シーズンの大飛躍を準備して、左の大作二十六作品を入荷、待機させてゐたが計らずも今回の輸入禁止に對して、いさゝかも作品の質の低下を見ることなく、平時のシーズン通り、最高の歐洲映畫を封切ることが出來るわけである。尚待機中の作品は左の通りである

▽「スパイ戰線を衝く」獨逸ウファ製作、軍國映畫、カール・リッター監督、ウイリ・ビルゲル主演▽「巴里の暗黒街」佛蘭西モーリス・トウルヌール監督、犯罪映畫マルセル・シャンタル主演▽「どん底」佛蘭西ジャン・ルノアール監督、文藝作品、ジャン・ギャバン主演▽「ひめごと」獨逸ウイリ・フォルスト監督、アバルフ・ウオールブリュック主演▽「海のつはもの」佛蘭西マルセル・レルビエ監督、ジャン・ピエレル・オーモン主演、海國映畫▽「驕きの木蔭」獨逸シネ・アリアンツ特作、浪漫映畫パウラ・ヴエッセリ主演▽「或る映畫監督の一生」佛蘭西ACE映畫、新鋭エドモン・グレヴイル監督▽「モスコーの夜は更けて」、獨逸ウファ製作、グスタフ・ウツイキー監督、ハンス・アルバース主演▼「櫻草」獨トビス映畫、アニー・オンドラ主演▼「ジエニーの家」佛蘭西マルセル・カルネ監督、フランソワーズ・ロゼエ、アルベール・プレジャン主演▼「愛國の騎士」獨逸ウファ製作、カール・ハートル監督、ウイリ・ビルゲル主演▽「赤ちゃん」佛蘭西レオニード・モギー監督、ルシアン・バロウ主演▽「ペ、ペ、モコ」佛蘭西ジュリアン・デュヴイウイエ監督、ジャン・ギャバン主演▽「ペテン物語」佛蘭西劇壇の大立物サッシャ・ギトリイ監督主演▽「性の渦卷」佛蘭西エドモンド・グレヴイル監督▼「紅燈の影に」佛蘭西アナトール・リトヴアク監督、シャルル・ボワイエ、ダニエル・ダリュウ主演▽「王様ワルツ」獨逸ウファ製作、ヘルバート・マインユ監督、音樂映畫、ウファオール・スター・キャスト、▽「頭腦の中の嵐」「テナルデイ一家」「自由よ我等の自由よ」以上レ・ミゼラブル三部作、全篇二十八卷、レイモン・ベルナール監督、佛蘭西オール・スターキャスト

▽▽結婚への道△△

新興大泉作品、山田五十鈴が久々に現代劇に主演する映畫で菊池寛の「現代人讀本」より畑本秋一が脚色、田中重雄が監督に當つた作品である、父の商取引きの政策のロボットとなつて想愛の男を捨てゝ相知らぬ男の許に婚いだ女が色々な試練の後現在の夫に眞實の愛を見出すまでの物語り立松晃が相手役に廻る他に菅井一郎、古川登美、御橋公子、久慈行子、大友壯之介、大井正夫等が助演する、銀座キネマ上映中

東和商事の輸出記錄映畫
鈴木重吉が編輯

川喜多氏の渡支によつて愈々撮影進捗を見てゐる東和商事の輸出記錄映畫は、日本が東洋平和の盟主であり、今回の事變に於ける我が正義を說いてるるテーマ通り、題名を一先づ「東洋平和への道」と內定し、その主題をあらゆる方面から力強く盛り上げ擧國一致的記錄映畫とする事に決定した、尚ほこの編輯に當つては、第一人者として定評のある新興キネマの鈴木重吉氏に白羽の矢を立て、同氏の快諾を得たので、こゝに記錄映畫として最も重要な編輯方面も完璧なものとすることが出來るわけである

小杉勇が時代劇に初出演

日活京都は四十七義士を背後から援助して元祿の快擧を遂行せしめた女性の活躍を描く邦枝完二原作『女忠臣藏』を『時代劇の非常時女性映畫』と銘打ち荒井良平監督、轟夕起子主演、日活東西女優總動員で製作するが、吉良上野介には多摩川の小杉勇が選ばれて特別出演することゝなつた小杉勇のチョン髷物出演はこれが初めてゞある、尚小杉勇は目下多摩川で轟夕起子と組んで『限りなき前進』と『美しき鷹』に出演中で『女忠臣藏』はその次回作となるが、これで小杉、轟のコンビは親子、戀人同志、敵同志と役こそ違へ東西に誇つて三度連續するわけである

さぼてん

つれづれの散步の折仙人掌子が巷にみ受けたうれしくもあやしげなる彼女等のルポルタージュ一束▼朝まだき銀バスのひろみクン自動車で眞直ぐに大同大街を北行してゐた行く手は勿論銀パレスに決つてゐるが行つた先は知らん▼或る日曜の午後シゲ坊のシーマクン彼氏らしい男と一緒に馬車でたのし相にゆられてゐるのを拜見した、出たところは勿論シゲ坊に決つてゐるが行く先はいづこ?とに角その日は日本一の秋晴れだつたですよ▼ゆりかごのマー坊豐樂劇場で仙人掌子の目とカチツとぶつつかつた、はてはと思つてフクロの樣にみはつてみたが殘念!闇にまぎれて彼女は何處か安全地帶へ逃避して仕舞つた

雜音

豐劇の二本立はP社の「たくましき男」が宣傳期間の少なかつたかはりに實質的に受けてゐる、マムーリアンの音樂と活劇を交へた物語り、P社十四卷の大作ときてはちよつと見逃されまい▼次いで「風雲の歐羅巴」PCLの時局もの「北支の空を衝く」が揚る、後繼にP社「海の魂」PCL「戰ひの曲」「僕は誰だ」などがある▼帝都はギャング大會に次いで再映プロ、後へガルボとテーラーの「椿姬」が來る、「旅順港」は月末になるらしい

十月四日 月曜日
九月一日 甲子 先負 平 畢宿

●一白の人　念願容易に達成する日なれど訴訟爭論注意　乙と庚と壬が吉
●二黒の人　意の如く希望通達する日甘言を卸け病注意　酉と壬と丑が吉
●三碧の人　計畫期待外れとなり痛手を蒙るに至るべし　甲と申と丑が吉
●四綠の人　眞心も人に通ぜず惱ましく煩悶を增すべし　甲と乙と申が吉
●五黄の人　去就常ならず煮え切らぬ態度は利益を逸す　辛と癸と艮が吉
●六白の人　本陣を固め油斷たくば敵に侵さるゝも安全　庚と辛と癸が吉
●七赤の人　急功を望まず段階を昇るが如く一段宛進め　丁と癸と丑が吉
●八白の人　運途開け多幸なる日起業開店婚談普請皆吉　庚と壬と癸が吉
●九紫の人　無理難題を持掛けらるゝ日誠實なるがよし　甲と卯と乙が吉

お知らせ

従來御贔負賜りました新京「豐樂園」を解消し今回合資會社「植樹園」を設立合資會社五十嵐組の姉妹會社として營業五十嵐ビル內に事務所を置き植樹、遊園のお需めに應じ第二五十嵐ビルの一部に百坪の温室を設け、無味乾燥の多季間を賑はす爲め花卉、盆栽を作り丁寧親切、廉價勉強を旨とし奉仕的精神を以て廣く皆様の御注文に應じることに致しましたから何卒多少に不拘御用命下され倍舊の御愛顧のほど伏して願ひ上げます

新京新發路二〇七
合資會社 植樹園
電話(2)四七五〇

白い天使

（禁上映）

林房雄作　吉田眞里畫

終　曲（一）（二〇）

門の外には、出所人を出迎へる人々がむれてゐた。

だが、篠田のみおぼえのある顔はその中には一つもなかった。

むりもない。かれは、出獄日をだれにも通知しなかったのだ。

しようにもする方法がなかった。

實家はとほい九州で、そこに義理の妹がゐるばかりだ。

それに、所内では、親戚以外との文通を許されないので、爭議の仲間の消息も住所もまるで知ることができなかった

いづれ、外にでさへすればすぐに連絡がつくのだからとのんきにかまへて、でてきたのである。

さはいふものゝ、出迎へ人がひとりもゐないことは、さすがにさびしかった。

人々の間をすりぬけるやうにしながら、だれかきてゐないかなあといふやうな顔つきをして、差入屋のならんでゐる狭い通りの方にあるいていった。

向ふから、自動車がやってきた。

自動車もまた久しぶりだ。

めづらしいばかりでなく、職業が運轉手であるだけ、ひとくなつかしい氣持さへして思はず足をとめた。

『キャデラックだな。少し型が古いが、圓タクにしては、よすぎる車だぞ』

そんなことを思ってゐると、そのキャデラックが、思ひきり大きな警笛をならして、ぴたりと篠田のまへにとまった

『おゝい、篠田！』

『だ、だれだ？』

『ぼくだ――田中秀夫だよ！……』

車のドアが、つきあけられるやうにあいて、すっかり一人まへの運轉手らしくなった秀夫がころがりだしてきた。いきなり篠田の手をにぎって

『からだは？――丈夫だったかい？よかった、よかった。無事で出てこられて、ほんとによかった！』

『やあ、有難う、ありがたう――たれも知った人がきてくれないんで、少々しよげてゐたところだったよ。

でも、どうして、けふでるってわかったのかい？』

『だいたい、でる日の見當はついてゐたから、一週間ほどまへから何度も電話をかけてきいておいたさ。でも、まにあってよかった、あやふく遅れる所だった。まあ、とにかく車にのれよ。のってからゆっくり話さう』

秀夫は、篠田を客席におしあげるやうにして、自分は運轉臺にのりこんだ。

車がすべりだすと、篠田が

『おい、なんだか、勝手がちがふな。おれが客席にすわるなんて話しが逆だぜ』

『そりやあ、ちがふだらう。なにしろ、二年近くも留守をしてゐたんだ。いろんなことが變ってゐるさ。これだって、ぼくは立派な甲種運轉手だ！……』

『なるほどね。

だが、それにしても、なんだかおかしいや。

ほらお前と始めてあった日よ。

お前がお客で、俺が運轉手でさ。

お前さてつもねえ、でためをしやべったじやねえか』

『あっはつは思ひだすよ。

――あの日も、けふみたいにいゝお天氣だったな。

時候は秋の始めだったらう……』

『さうだ。』

お前が、ハイカラな服をきて、客席にそりかへりながらさ。

十分間もつとも興味深く行動に消してくれたら、五圓やらう――なあんて、いゝ氣なものだぜ。

あっはつは！』

［大正九年十二月廿四日第三種郵便物認可］

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三三〇五　營業局專用(3)三三〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

省境の抵抗線遂に總くづれ！

わが猛攻擊に大混亂
德州縣城遂に陷落す
城壁頭高く日章旗輝やく

【天津三日發國通至急報】天津軍司令部三日午後四時發表＝津浦線に沿ひ南下前進中なりしわが部隊は三日午前十一時德州（濟南北方約廿五里）を占領せり

【天津三日發國通至急報】德州城壁に迫つて猛攻擊を加へつゝあつたわが沼田部隊は三日午前十一時遂に德州縣城を占領、城頭高く燦たる日章旗をひるがへした

退路斷たれて潰滅

【桑園三日發國通至急報】わが軍の猛進擊に德州の敵軍は前日來列車或は運河を利用して西南方に逐次退却を開始したが、二日夜から三日拂曉にかけては最早列車の運行さへも困難な程の混亂狀態に陷り、わが奇襲部隊の退路遮斷で德州城內の敵は潰滅するに至つた、最早津浦線の敵は戰意全く喪失、遠く濟南方面にまで一氣に退却するのではないかと見らるゝに至つた

沼田部隊、譽れの一番乘り

【天津三日發國通】馬廠、滄州の敵堅陣を一蹴し意氣軒昂のわが軍は三日拂曉より山東省內の要衝德州城壁に向つて總攻擊を開始した、冷氣肌をさす拂曉勇躍行動を開始したわが軍は一部をもつて城壁北門に向ひ、西北角口城內を目標とし、更に沼田部隊は縣城東北より一齊攻擊の火蓋を切り數ヶ月前構築せる敵の堅壘に猛烈なる銃砲火を浴せかけ、飛行部隊もこれに呼應して夜明を待ち城壁に據つて頑强に抵抗する敵に對し連續空爆を敢行した、この間わが主力部隊は城內外の敵潰滅作戰を執るべく城壁を遠く避けて大迂廻を試み一氣に敵の背後に出て猛擊を加へた、敵は周章狼狽戰意を失ひ雪崩を打つて城門の西南に向け潰走した、敵の動搖を看取したわが沼田部隊はこの機を逸せずわが砲彈のため破壞された城門に潮の如く殺到、續いて北門指して西北隅よりの友軍と相次いで城內に突入、午前十一時堅壘を誇る德州城も遂にわが軍の占領するところとなつた

【天津三日發國通】三日午前十一時德州縣城を掌中に收めたわが軍は憩ふ間もなく潰走する敵を追ひ、引續き南進を繼續中

皇軍空陸の猛擊
（上）劉家行一番乘りの田上部隊勇士の萬歲（下）江陰附近において支那軍艦明海を爆擊

江陰を空襲

【上海三日發國通】海軍航空隊は本日午前江陰を空襲し昨日爆擊擱坐せしめた永綏型軍艦を爆擊し一彈はその船橋附近に命中、船體は眞二つにへし折れ沈沒した、また、その附近の砲艦も大破せしめた

海の荒鷲各地を空襲
廣東では敵數十機と渡合ふ

【上海三日發國通】艦隊報道部三日午後六時發表＝（一）海軍航空隊は三日午前永安州附近にて逸仙型巡洋艦を爆擊擱坐せしめ、勇勝型砲艦一隻および湖鳳型水雷艇一隻を大破せり（二）又一部は廣東行營を爆擊し敵カーチスフォーク戰鬪機四機と交戰、うち一機を擊墜せり（三）又一部は陸軍戰鬪に協力し終日反復して大場鎭の敵陣地を爆擊せる外南翔附近の裝甲車、軍需品滿載の貨車十數輛および敵兵站陣地を爆擊これを潰滅せり（四）更に一部は長興安慶を空襲して格納庫を大破炎燒せしめ飛行場內にありしノースロップ機一機を爆破せり

【香港三日發國通】わが海軍航空隊は二日三回にわたり廣東を襲ひ午前八時半、午後一時廿分、同三時十五分と何れも南支那の澄みきつた秋空高く思ふ存分の活動をなした、最近廣東に到着した支那軍戰鬪機十數機は必死となつて双向ひ佛山、順德、赤灣三地方の上空において壯烈な空中戰が展開されたが、そのうち數機は忽ち擊墜され、我方は虎門要塞、黃埔軍官學校、天河飛行場などに爆彈の雨を降らせて悠々歸還した、なほ支那砲艦堅如は爆彈命中大損害をうけた

津浦線上の軍用列車に痛彈

【旅順國通】旅順要港部三日午前十一時發表＝第〇艦隊〇戰隊航空隊は二日午後徐州、韓莊、兗州間に軍用列車を爆擊、さらに南航して徐州宿縣間を飛行中夾縣（徐州、宿縣の中間）附近において南行中の軍用列車を發見、該列車は急停車して支那兵は附近に散開機關銃等で頑强に抵抗せるも爆擊歸還せり

激烈極めた閘北市街戰
戰果揚り敵陣淸掃の日近し

【上海三日發國通】過去五日間の閘北戰線の市街戰は世界戰史にも稀にみる激烈なる肉彈戰で窓から窓へ手榴彈が投げ交はされ、機銃が眼の前でなる、脚下で大砲がぶつぱなされる、さうして白刃の閃き組打ち、毆り合ひ、格鬪、地雷火の連續的爆發など、言語に絶する物凄さだつた、この激戰に幾多犧牲を拂ひつゝも恐れを知らざるわが陸戰隊員の果敢なる奮戰により敵の大部隊は陣地を棄てゝ三義里の一角に追詰められ、あと一息で淸掃されんとしてゐる、この功績の一端を擔つた佐野部隊を〇〇本部に訪へば、連日力戰に屈せず重傷を物ともせず將兵は何れも意氣軒昂誠に當るべからざる勢ひである、商務印書館に日章旗がひるがへるのもさう遠くはあるまい

水雷艇
蘆徑港敵陣を潰滅

【上海三日發國通】三日午後二時艦隊報道部發表＝二日わが水雷艇〇〇は通州水道天生港下流の蘆徑港附近にて支那軍隊のため狙擊を蒙りたるためこれに反擊を加へ敵陣地を潰滅せり

先鋒部隊大場鎭に肉薄す

【上海前線〇〇三日發國通】わが空陸海軍協力しての猛攻擊にさしもの敵も三日朝來上海街道の線を放棄して敗走し大場鎭北方二キロの馬家宅方面に主要部隊を配置したが、わが追擊迫るとゝもにこれら主力部隊も亦遂に南翔、大場鎭目指して退却を開始した、これに對し午後一時卅分川並部隊は戴家巷、石井部隊は吳家院、田上部隊は八房宅にそれぐ進出してさらに追擊の手を緩めず三方より前進中でこの方面で敵が本據とたのむ大場鎭の陣地まで僅か三キロとなつた

新國劇の島田君
名譽の戰死

【上海三日發國通】新國劇俳優島田正吾事服部喜久太郎君は劉家行攻擊の際一日午後名譽の戰死を遂げた、島田君は舞臺における熱血そのまゝ戰場においても常に勇敢に戰ひその奮戰振りは部隊內に勇名を謳はれてゐた

爆彈、地雷火に命中
敵兵空中に吹飛ばさる

【上海三日發國通】三日午前八時五十分わが海軍機〇機は商務印書館上空密雲の中を見事な低空爆擊を敢行、敵に徹底的損害を與へた、また同九時海軍〇砲隊は砲口を開き商務印書館方面に砲擊を加へたが敵が後退準備のため同書館前庭に布設した大地雷火四個に命中、大音響と共に爆發、附近の民家および敵兵多數は木葉微塵となり空中に吹き飛ばされ壯絶を極めた

日章旗を使用して
わが軍を欺瞞
支那軍の不法手段

【上海三日發國通】三日陸戰隊脇坂〇隊が突擊占領した寶興路印度人敎會に對し敵の一部隊は三日午前二時頃逆襲して來つたが、わが軍は直ちに之を擊退した、敵の遺棄死體を調べてみると彼等は孰れも自國製の粗末な日章旗を携帶してをり、卑怯にも國旗の僞裝に隱れて行動してゐることが判明した

內蒙軍百靈廟入城

【大同三日發國通】三日午後八時發表＝內蒙軍幼年學校學生隊は去る二日午後四時百靈廟の支那軍を擊破して堂々入城し支那軍の手より同地を奪還した

上海の皇軍
社員慰問行
中西理事歸任談

上海の皇軍ならびに滿鐵社員慰問を終へた中西滿鐵理事一行四名は三日入港のうすりい丸で歸任したが同理事は語る

上海滯在四日間陸、海軍、滿鐵事務所その他各方面を訪ねてその勞を犒つて來た上海方面の戰況は既に新聞ラヂオ等で聽いてゐたが現地に行つて一入皇軍に對する感謝の念を深めた、上海の戰況は八月十六、七、八の三日間がクライマックスであつたのでその後は危險も餘程緩和したとのことである、併しこれは支那軍の敗退するまでの小康狀態でやがて敗殘兵が雪崩を打つて租界に侵入することがありはしないかと一般に警戒の氣分が解けてゐない、又日常もモッズの危險があり飛行機の襲來も時々あり、滿鐵上海事務所員も事務所に籠城して元氣な活動を續けてゐる、支那のデマには弱つてゐるらしい、この間もわが海軍が外人記者團を海軍俱樂部に招待したところ外人記者團は同俱樂部は支那側の占領してゐる處と思つてゐたさうだ、また外人が打電する電報は支那電報局が勝手に書直してをりこれが判つた某外人記者は憤慨して爾今電報は香港まで手紙を出して打電するといつてゐる併しこんな事は何れ眞實が判る時が來る

林滿映理事歸京

滿洲映畫協會常務理事林憲藏氏は豫て滿映東京出張所設置の件ならびに就任挨拶のため上京中であつたが、三日午後六時廿分新京驛着あじあで歸京した

正しい事實は
行動に現れる
西下の米內海相談

【東京國通】米內海相は名古屋方面視察のため三日午後一時東京驛發西下したが、車中左の如く語つた

支那事變勃發以來擧國一致目的に邁進し銃後の熱誠には感激の外ない、國際關係の錯綜した支那における軍事行動であるため豫想された如くその進展に伴ひ樣々な派生的問題も起り、その間爲にする惡宣傳も流布せられて抑々煩はしいが、わが國としては飽く迄正しく强く所期の目的達成に邁進するのみであつて、結局正しい事實は公平なる行動を通じて全世界に闡明されることを信じて疑はない、わが空軍の目覺しき活躍は第一線將士の至誠奉公心と優秀な技術によるが、半面飛行機製造の技術員の不斷の努力を看過出來ない、今後ますます研究を進め列强に一歩を先んずるの覺悟が必要である

蘭領リオ群島で
和蘭海軍機
我漁船擊つ

【東京國通】在バタビア小谷總領事代理より二日外務省着電によれば、蘭領印度政廳の海軍參謀長は同總領事代理に對し一日電話をもつてリオ群島のデタップ島およびペングラップ島間において日本漁船東慶丸が領海侵犯を行つたのでオランダ軍艦フローレンス號の艦載機は三度にわたり機關銃でこれを射擊漁夫二名を射殺し二名を負傷せしめ同船をタンジョピナンに連航抑留した旨報告をして來たので小谷總領事代理は現地において眞相調査に着手してゐるとのことである

熱辯に聽衆感動
矢吹、生江兩敎授時局講演會

今內地で東京、大阪始め各地で嵐の樣な感動を捲き起してゐる〃國民精神總動員運動〃に相呼應し滿鐵の招聘した大正大學敎授矢吹慶輝博士及日本女子大學敎授生江孝之博士の講演會は三日午後三時半より滿鐵西廣場俱樂部に於て開催せられた、この日絶好の行樂日和に市民は皆戶外に誘はれたと見え聽衆は案外に少なく開會を餘儀なく三十分遲らせたが集るもの皆非常時意識に燃えた靑年男女ばかり開會前から既に電流の樣な緊張感が會場に滿ち滿ちてゐた

やがて矢吹博士破れる樣な拍手に迎へられて登壇「精神總動員と我民族の使命」と題して講演會の火蓋を切り有色人種と白色人種との運命的な鬪爭から說き起し宗敎論に入りこの際東洋に於ける唯一の完全なる獨立國家をもつ大和民族の自覺を促がし堂々の論陣を繰り展げて降壇すれば續いて生江博士登壇「東亞に展けんとする新社會の翹望」の題下に舌端火を吐く熱辯の後畏れ多くも日滿兩帝國皇室の御親交ある限り我が帝國の基礎益々固くゆるぎなく自らそこに榮光ある新社會が東亞の一角に建設されるのだと結論一本一本針で聽衆の胸を刺すが如き名調子に滿堂を感激に醉はせ午後五時半非常時に相應しい「精神總動員講演會」は多大の成果を收めて終了した、尙ほ矢吹博士は哈爾濱方面に生江敎授は朝鮮方面に赴き夫々講演會を開催することとなつてゐる

本庄大將奉天着

滿洲國皇帝御弟君溥傑上尉の御結婚披露宴臨席を兼ね、滿洲視察の途にある滿洲國產みの親本庄繁大將は、夫人同伴三日午後二時四十二分着〃あじあ〃で〇〇部隊長、森岡總領事、鹽澤特務機關長、また[illegible]省長、金奉天市長以下大將の德を慕ふ在奉日滿官民の盛大なる出迎裡に大連より來奉驛貴賓室において出迎の人々より挨拶を受けた後、直ちに奉天神社、忠靈塔に參拜同所において在奉日滿協和會員約五千名の歡迎の挨拶を受け、三時卅分宿舍瀋陽館に入つたが、滿洲事變當時關東軍司令官として一年有餘を過した思ひ出の地奉天に約七年振りに足跡を印した大將の面には言ひ知れぬ感慨の色が漂つてゐた、なほ同大將は奉天に二泊その間各方面に挨拶をなして日午前九時十分發飛行機にて單身錦州、承德方面に向ふ

人事往來

▲山際滿壽一氏（會社員）三日來京ヤマトホテル
▲平山縣三氏（會社員）同
▲川又甚一郎氏（會社員）同
▲川口淸次郎氏（會社員）同
▲仲野繁次氏（會社員）同向陽ホテル
▲伊藤兼行氏（滿炭社員）同
▲加藤明氏（哈爾濱商工會議所會頭）同
▲岩間壽包氏（材木商）同
▲今井猷次氏（神戶海上）同
▲中西隆吉氏（大阪丸紅店員）同國都ホテル
▲中本捨造氏（同）同
▲平野繹一氏（商業）同
▲中谷佐一氏（同）同
▲諸岡顯義氏（滿炭社員）同
▲三浦一郎氏（同）同

滿洲飛行協會主催第一回全滿グライダー競技大會は多大の成果を收めて終了した▼審判委員長の講評にある如く成績は決して良好とは云へないかも知れぬが▼これが生れて漸く一年の會員であり滿洲最初の大會の成績としては大いに賞讃すべきだ▼昨年の創立當時誰が今日を豫期したであらうか▼勝敗を度外した會員の規律と競技精神は我々に敎へられるところが最も多かつた▼中でも白系露人と滿洲人の若き二女性の參加は我々をどれだけ力强く感ぜしめたことか▼それに反して日本人女性の一人の參加もなかつたことは非常な淋しみを感ぜしめた▼この競技は大人よりもむしろ男女小學校生徒、兒童に普及すべきである▼內地專門學校に於ては航空科を正科となすことはほゞ決定的である▼滿洲に於てその必要を更に痛感させられる當局の一考を煩す次第だ

支那側の逆宣傳化の皮を現はす
事務局原案やり直し

【ジュネーブ二日發國通】二十三ケ國諮問委員會の十二ケ國小委員會は二日午後三時半から再開し、日支兩軍の行動に關する事務局原案の審議を續行したが支那側の逆宣傳漸く化の皮を現はしはじめ且つ各國代表の態度を輕卒なりとして修正を主張する者多く遂に再編輯を要求するに決定し午後九時半から再開に決した事務局原案の內容は不明だが日本側の言分が相當採用されてゐるので支那側は狼狽不滿の意を表し會議はもめた樣子である

南京の物資缺乏愈よ深刻化す
公共機關も活動停止

【ニューヨーク二日發國通】Ａ・Ｐ電によれば南京における物資の缺乏は最近益々顯著となり、米國系石油會社は極度に減少したストックの中から辛うじて配給を續けてゐるが、煙草會社の如きは既に在庫品を賣盡して全部引揚げて了つた、學校はじめその他公共機關の活動を停止するもの多く食料飢饉は殊に深刻で外國人はバタ、キャンデイはじめ常食物が缺乏した結果、水牛の肉、筍、米等で辛うじて飢ゑを凌いでゐる有樣で南京碇泊中の米國砲艦ルソン、ガム兩號も燃料の缺乏を憂へて活動を極度に制限、又食料の缺乏も著しく乘組員もせ全部上陸を禁止されたといはれる

佛支不可侵條約締結說を佛政府否定

【パリ一日發國通】一日の一東京新聞は「佛支兩國政府は不可侵條約締結交渉を開始既に原則的諒解に到達した」と報道したと傳へられるが、フランス政府筋では右報道を否定して次の如く言明した
佛支兩國政府は不可侵條約締結交渉の如きは未だ開始してをらず、從つて右に關する報道は全く根據がない

昂まる外人獻金
既に一萬圓を突破す

【東京國通】堂々正義の軍を進める皇軍の奮戰は今や世界驚異の的となつてゐるが事變以來在留外人、來朝外人で眼のあたりみる正義日本の姿に感激わが陸軍省に恤兵金、國防費等の獻金を申出るもの日を逐つて增加し、九月末日現在で三十六件、金額總計一萬五百九十六圓七十三錢の多きにおよんでゐる、最初に獻金を申出たのは七月十九日東京市日本橋區吳服橋ワーナーブラザース會社外數名で、遙々函館から送金して來た露國人（前シャム經濟大臣サラサス氏のもある、各國別にみた內譯は白系露人八件、ドイツ人七件、英國人三件、（ギーエラト・グレーバー氏夫妻）インド人二件、ノルウエー人一件、シャム人二件、佛國人一件、國籍不明九件、他に在留支那人で、匿名獻金二件と發表せざるを條件としたのも數件がある

上海東部第一線に奮戰する皇軍

艦褸を集めて飛行機獻納
全國に飛檄

【東京國通】日本婦人の第一線にある嘉悅孝子、吉岡彌生岡田德子、平野濱子、跡見末子の五女史が主唱責任者となつて艦褸から飛行機を作る婦人の銃後の獻納運動が起された
メリンス、ネルその他古着類、メリヤス類、毛糸その他の艦褸八萬貫を集めてこれを再製工場に賣却すれば飛行機二臺になるといふので、全日本婦人に飛檄して全日本女子商業學校內に全日本婦人飛行機獻納運動本部を置き十二月二十日を締切として不用品の艦褸を集めて陸海軍に飛行機各一臺を贈る運動が展開されることになつた

共產主義政策に實業界は大恐慌
ソ支不可侵條約は中央自らの墓穴

【天津三日發國通】ソ支不可侵條約締結を契機として兩國の合作が急速に具體化し、最近では南京、上海方面においては政府は既に工賃値上げ、從業時間の短縮など共產主義政策を實施すべく目下準備を急いでゐるとの說が濃厚なため一般に大恐慌を來し湖北、安徽、江蘇、江西等の實業家は既に政府に對してこれが政策の緩和方を要請し、また山東省における工場も本問題に關して協議した結果、中央政府に對して反對の旨を陳情した、かくてソ支不可侵條約締結は結局中央政府が自ら墓穴を掘るに等しきもので漸次其傾向が顯著となつて來てゐる

不干涉體制の廢棄
ソ聯、委員會に要求す

【ロンドン二日國發通】スペイン義勇軍撤收問題をめぐる英佛伊三國交渉が難關に逢着してゐる折柄、ソヴイエト政府は二日ロンドン大使館を通じ不干涉委員會議長プリマス卿に對し不干涉體制の全面的廢棄方を要求せる通牒を送りロンドン外交界に大衝動を與へてゐる、通牒の內容次の通り
一、不干涉監視體制の失敗を記錄すべし
一、陸上並びに海上監視體制を廢棄すべし
一、フランス國境の監視を撤廢これを再開すべし
右はいよいよ公然スペイン政府軍援助に乘出さんとするソヴイエト政府の決意を示すものと解されるが、一方聯盟總會においてはスペイン問題に關する決議案が不成立に移りスペインをめぐる歐洲政局は重大危機に直面せんとするに至つた

快晴に惠まれ日曜馬場超滿員
玉飛（谷尾騎手）百六圓の大穴
秋競馬第三次最終日

新京競馬第三次優勝レースは快晴の好天氣に惠まれて絕好の日曜競馬となり、文字通りのファンに超滿員を呈し展開する好レースに興奮から興奮へ全く素晴らしい優勝競馬に終始した、當日第二レースに於て玉飛の谷尾騎手好調にラストがきまり百六圓の大穴配當を出して、第三次掉尾戰の印象を殘したる外にさした る番狂せもなく華々しく閉幕した、なほ榮あるチャンピオンレースを獲得したものは、左の通りである
第四競馬の抽古障碍二、八〇〇米に賽玉（谷尾騎手）馬主小松兼松君、第七競馬の新古外馬二、六〇〇米に奉天若虎（梶原騎手）馬主相原楚一君、第九競馬の秋抽二、四〇〇米に來北（高尾騎手）馬主宛榮臣君、第十一競馬の抽古二、四〇〇米に第二飛龍（田中騎手）馬主穴澤喜莊次君でそれぞれ名譽ある優勝盃、褒狀並びに花瓶を授與された、當日に於ける成績左の通りである
▲馬場良
▲入場人員　三、四九三名
▲馬券總賣上高　九五、七〇〇圓
▲搖彩票賣上高　二二、一三〇圓

第八日目成績
▲第一競馬（二頭、二、〇〇〇米）1蘭花（三分一秒三）2秋風、配當—單八圓、搖彩1七〇圓四〇、等外一七圓六〇
▲第二競馬（六頭、二、〇〇〇米）1玉飛（二分五三秒二）、2拉麗德、3高風、配當—單一〇六圓、複1一五圓九〇、2九圓五〇、搖彩1一五八圓七〇、2三九圓六〇、等外一二圓四〇
▲第三競馬（六頭、二、〇〇〇米）1金大川（二分四七秒三）2勝駒、3赤穗、配當—單一二圓二〇、複1八圓二〇、2一四圓九〇、搖彩1三〇七圓二〇、2七六圓八〇、等外二四圓
▲第四競馬（七頭、二、八〇〇米）1賽玉（四分一一秒一）2舞姬、3一貫、配當—單一一圓三〇、複1六圓八〇、2六圓五〇、搖彩1三八四圓、2九六圓、等外二四圓
▲第五競馬（八頭、一、八〇〇米）1雲祥（二分二〇秒一）2金進、3新長、配當—單八圓一〇、複1五圓七〇、2七圓九〇、3八圓六〇、搖彩1九二二圓八〇2二六三圓六〇3一三一圓八〇、等外六五圓九〇
▲第六競馬（四頭、一、八〇〇米）1第二矢風（二分四〇秒）2公富、3長春、配當—單八圓九〇、搖彩1四〇五圓三〇、等外三三圓七〇
▲第七競馬（五頭、二、六〇〇米）1奉天若虎（三分二五秒二）2橫濱、3美光、配當—單五圓五〇、複1五圓七〇、2一四圓二〇、搖彩1五八八圓八〇、2一四七圓二〇、等外六一圓三〇
▲第八競馬（九頭、一、八〇〇米）1東功（二分三七秒）2新常陸、3陸王、配當—單一九圓七〇、複1六圓八〇、2六圓六〇、3一二圓九〇、搖彩1一、四二〇圓一〇、2四〇五圓七〇、3二〇二圓八〇、等外八四圓五〇
▲第九競馬（六頭、二、四〇〇米）1來北（三分一三秒一）2愛國、3吉生—配當—單五圓九〇、複1五圓五〇、2七圓五〇、搖彩1五八八圓八〇2一四七圓二〇、等外四六圓
▲第十競馬（六頭、一、八〇〇米）1睦月（二分三三秒）2夕風、3金大鵬、配當—單九圓五〇、複1五圓七〇、2五圓七〇、搖彩1五二九圓九〇2一三二圓四〇、等外四一圓四〇
▲第十一競馬（九頭、二、四〇〇米）1第二飛龍（三分一八秒一）2八二、3堅城、配當—單六圓七〇、複1五圓六〇2六圓四〇、3一〇圓七〇、搖彩1一、三一二圓六〇、2三七五圓、3一八七圓五〇、等外七八圓一〇
▲第十二競馬（四頭、二、〇〇〇米）1常陸（二分五八秒二）2英新、配當—單一〇圓四〇、搖彩1三七三圓三〇、等外三一圓一〇

德州地方の地理的懷古（其七）
大宮權平

天兵南下河北の平野震撼し、醜類狼狽奔竄、其東部方面に於ては、一は東南走し鹽山、慶雲より山東武定現稱惠民に潛入し、一は津浦線に沿ひ山東德州に入るものの如し、此の城壘陷落も目睫の間にあらん、德州は春秋戰國時代に齊趙抗爭の衝路にして、平原君の封地なりき、爾來歷朝河北の重鎭として注目せられし要地なり、唐代安祿山叛亂、黃河以北の諸城悉く風靡し、警報頻りに唐朝に達し、玄宗皇帝をして河北二十四郡一人の忠臣なきかと嘆ぜしめたる時平原の太守顏眞卿、厥然立て祿山の大軍を擊破し、唐朝恢復の端緒を發したる最先端の平原は、現在津浦線上の平原にあらず、其東北の陵縣なり今尙城址歷然として憑弔懷古遊子の思を焦がす、魯公の廟は儼然として地方民尊崇の中心たり、當時に在つては反逆軍に對し誠忠の義軍なりしを以て奏功せしも、現在は東方聖天子の正々堂々たる膺懲軍南征に方り、魑魅魍魎の距躓如何に悶くとも敵すべからざるは因より當然なり、唐開成五年四月日本比叡山の慈覺大師一行五臺登山の途次黃河を渡過せし日記上の地點は、德州南方の現在黃河崖と呼ぶ黃河故道の上流地點なりしことは、前後道程村落名に據て證明し得べし、河道の變遷研究の好資料なり、明朝永樂年間南洋蘇祿國（現在比律賓群島西南パラワン島）王入朝し其歸途德州に於て薨去したるを永樂帝憐みて之を葬りたる其墓碑は京大桑原隲藏博士に據て考證せられ現存しあり、德州南郊外高津河馬頰河等は古代九河の內として數へられる古名、今に至る數千年依然として稱呼せらる、馬頰河の渤海に注ぐ邊に、大山馬谷、小山蹓と呼ぶ四面渺漠たる大平野中に稀なる茂林の丘阜あり傳曰ふ秦の時徐福童男女を率ひ此處より東海に浮び去れりと、卯兮城又は千童城と謂ふ古址あり、（此かる傳說は山東膠州灣西岸徐家莊にも大同小異の口碑あり）此地方は戰國齊の北境にして、渤海灣上の海市即蜃氣樓の出現より神仙說發生の地帶に屬し天地自然現象に對する古代思想の片影と見るべきなり、北方白河河口大沽、以南山東虎頭崖に至る渤海沿岸の漠々たる廣表面の大地域は所謂長蘆鹽の產地にして、古より北支一億有餘の住民の生命源泉たる食鹽の供給地たり、近々將來頑冥不靈の奴輩潰滅後の經綸の第一とし て觀過すべからざる一大要件を思はしむ、德州北方の安陵鎭附近は、俗稱亂塚と呼ぶ北齊朝時代の十八陵離然として存在す德州西方冀縣は河北全省の代名詞に使用せらるの一文字なるも、此の考證は歷史的に係はるを以て今は省略す、本地方一帶平漢津浦南線間を旅行する者は、所々沙洲の連亙するを見るべし是れ幾十世紀の間に於て黃河漳河、滏陽、諸水の氾濫河道變遷の故址なりと認むべきなり、其他歷代隆替興廢の事蹟を探査せば限りなく日も亦足らざるなり（一〇・一〇ノ一）

銑鋼增產計畫小日山案を可決

昭和製鋼所の年產銑鐵百五十萬噸、鋼材約百萬噸の增產計畫に關する滿鐵重役會議は、二日午前十一時半より七時間半の長きに亙り松岡、大村正副總裁、在連各理事、昭和製鋼所より小日山社長以下四重役等出席のもとに開催、所謂小日山案を可決決定して同午後六時閉會した、滿鐵では取急ぎ右案を政府に認可申請の手續をとることゝなつた、即ち同案は滿洲の鐵鋼五ケ年計畫において昭和十六年度に完成する豫定を早め銑は十三年度中に、鋼は十四年度中に增產を完了せんとするものである、現在の製鋼所の鐵七十萬噸、鋼塊五十八萬噸、鋼材二十八萬五千噸を一躍銑鐵百七十萬噸、ルンペ二十萬噸、鋼百九十萬噸、鋼塊百八萬噸、鋼材五十九萬噸の生產を昭和十二年度末までに行ふもので右に要する事業費は三億圓、運轉資金五千萬圓、合計三億五千萬圓に達し、右資金計畫については借入金社債發行、社內保有金を充て增資は現在のところ行はない模樣である

昭和製鋼社長近く來京

滿鐵重役會に出席した小日山昭和製鋼所社長は四日午前十時半發はとで一應歸鞍、直ちに滿鐵の決定した增產案を携へて新京の關係各方面の諒解を求め、本月中旬に再び東京に赴き滿鐵の右認可申請について關係當局に說明をなす筈である

佐野學に續いて鍋山も再轉向を表明

【東京國通】小菅刑務所に服役中の第二次共產黨の首腦佐野學が支那事變に刺戟され上申書によつて再轉向を明かにした事は既報の如くであるがこれに續いて黨巨頭として實踐的第一人者たる鍋山貞親もこのほど小菅刑務所から「最近のわが思想的內省について」と題する再轉向を表明した鍋山貞親もやはり佐野と同じく一國社會主義をかなぐり捨てゝ日本精神に還つたもので從來その大名題とした階級鬪爭を放棄して民族は階級に優越すとの見解を表徵してゐる

ブラジル共產黨活動再燃

【リオデジヤネイロ一日發國通】ブラジルにおける共產黨の活動は政府の彈壓にも拘らず最近またまた再燃して來たがホセ・ソワレス法相は一日政府はこれが對策として一日或は二日ブラジル全國に亙り戒嚴令を布告する豫定なる旨言明しさらに左の如く述べた
最近參謀本部の入手した情報によればコミンテルンは秘密指令をもつてブラジル共產黨に對し
一、十月廿七日を期して一齊に蜂起し、すべての政府要人就中共產黨を彈壓する軍人を鏖殺しにすること
一、放火掠奪により國內を混亂せしめさらに飛行機、飛行場を破壞、軍艦を水雷で擊沈、兵營、公共建物を爆破すること
と指令したといはれる

初代カサブランカ領事決定

【東京國通】外務省辭令
任大使館一等書記官　公使館一等書記官　木村惇
命ポーランド國在勤
任領事　外務事務官　勝田直吉
命カサブランカ在勤（新設佛領モロッコ）

荒鷲第二陣の意氣！ 碧空に展いた妙技の華 全滿グライダー大會閉幕

滿洲飛行協會主催第一回全滿グライダー競技大會午後の部は零時四十分からセコンダリー自動車直接曳行による旋回滑空競技が開始されたが、非常時航空第二陣を承る若きパイロットの熱と意氣は火と燃えと妙技續出し萬餘の觀衆を熱狂させた、中でも會員中の紅二點哈爾濱支部の滿洲國人曹敬宗、白系露人フローワニーナ兩孃の勇敢なる動作は滿場觀衆の焦點となり、新京支部教官阿部己則氏の飛行機曳航による關東州支部教官弘中正利氏のソアラー模範滑空七百米上空に於ける橫轉、逆轉、橫ごし等の高等飛行は正に人間わざを超越した神技で觀衆の絶讃を浴びた、斯くて競技は正しき規律と正々堂々の競技精神に終始して午後三時終了引續き閉會式に移り一同整列今西審判委員長より別項の如き講評あり、大橋大會々長より團體並に個人優勝者にそれぞれ優勝盃及び賞品參加賞を授與し國旗降下、內海大會委員の閉會の辭があり第一回グライダー競技大會は豫期以上の成績を收め空前の盛況裡に幕を閉ぢた【寫眞上は大橋大會々長より優勝チーム奉天へ優勝盃授與、下は個人優勝者右より哈市新妻、奉天小島兩君】

團體及個人優勝者

團體優勝及び個人優勝並に得點は左の如くである

▲團體旋回滑空
一等奉天支部（四四一點）總務長官盃
二等新京支部（四二九點）
三等ハルビン支部（三七三點）
四等關東州支部（三四六點）

▲團體直線滑空
一等奉天支部（一、一八六點）交通部大臣盃
二等關東州支部（一、一六九點）
三等新京支部（一、一六一點）
四等ハルビン支部（一、一五六點）

▲團體動作競技
一等ハルビン支部（一三六點）關東局總長盃
二等關東州支部（一三一點）
三等奉天支部（一三〇點）
四等新京支部（一二九點）

▲個人直線旋回得點合計
一等澤柳誠四郎 一八〇點（奉天支部）滿洲航空會社社長盃
二等高瀨源吉 一七五點（新京支部）
三等馬場修一 一七四點（ハルビン支部）
同片岡武一（關東州支部）

▲個人旋回滑空
一等澤柳誠四郎 九四點（奉天支部）
二等隅田悠紀男 九二點（奉天支部）
三等江頭哈爾生 九〇點（新京支部）
四等片岡武一 八九點（關東州支部）

▲個人直線滑空
一等新妻東一 九四點（哈爾濱支部）
二等小島順 九一點（奉天支部）
三等三木富一（關東州支部）

成績概ね良好

今西審判長講評

今西審判委員長の講評左の如し

一、直線滑空（プライマリー）に就て

1、出發（離陸）直前に於て補助翼を規正し置く意十分ならざる爲め離陸直後傾きを生ずるものあり

2、方向の維持は將來「セコンダリー」型以上の修習に於て特に必要なるを以つて此點に關しては『プライマリー』型に於て十分演練し置くを要す

3、本日の成績は一般に良好とは謂ひ難し之を要するに直線滑空は略ば完全に教育しあるも操舵柔軟ならざるものあり操縦術の基礎技術なるを以つて注意するを要す

二、團體競技に就て團體競技は概ね良好と認むるも本課目はグライダー教育中主要演練項目なるに鑑み一層の練習を要望す

三、旋回滑空は時機相當の進度に在るを認むるも大多數が其要領會得なほ十分とは云ひ難し、特に方向舵のみにて旋回しあるの如きは不可なり、更に一層補助翼並に方向舵の使用に注意し圓滑なる旋回を實施し得る如く演練を望む

四、指導要領に就て練習指導要領を細部に亘り觀察するに各支部毎に特色あるは審判に當りたる教官指導員諸君の認識せられたるところと信ず他山の石として將來指導上參考に供せられたし

五、審判に就て審判官各位の熱誠溢るる努力に對し其勞を深謝す

六、判決

之を要するに全般の成績概ね良好にして各支部選手の熱心と統制節度ある訓練狀態を視たるは委員長の最も欣快とする所なり、而も滿洲は氣候の特異性として多季は殆んど練習不能たる懸條件に禍されあるに拘らず概ね所期の目的に近く一定水準に達したるは素より選手諸士不斷の練磨に依存すると云へ一面亦各關係者の援助に俟つ所頗る甚大なりと思惟す、抑々本大會が一の競技たる以上技術の甲乙は當然審議したるも寧ろ非常時局に儼然として立つ空の國防第二線を擔ふ勇士の精神力こそ技量と平衡して鑑賞せらるべきを以て將來益々熱烈なる意氣と絶大なる努力とを以つて航空の研究に精進し堅確なる精神を陶冶し優秀なる技を練り以て有事の際航空第二線たる使命達成に遺憾なきを期せられたし

李大會顧問式辭

滿洲飛行協會一周年記念日をトし本日茲に第一回全滿グライダー競技大會の擧行せらるるに當り諸君の勇姿に接し親しく式辭を述ぶるは本官の最も光榮とする所であります、惟ふに本大會は本春以來學業の餘暇を巧に利用し技を練り心を磨くことに專念せられたる諸君の半歳に渉る努力の成果を公表せられんとする絶好の機會と考へらるるのであります、科學知識の欲求と身心の鍛錬に燃ゆる樣な希望を持つ若人が斯く多數本大會に列せられ極めて秩序的に最も勇敢にこの公開の「スタディオ」に於て各々の

秘術を

發表せらるることとは蓋し天下の偉觀を呈することと欣びに堪へない次第で御座います、航空事業が近代文化の華であり、又文化に貢獻することの極めて大である事に就てはこの際敢て詳說する事を避けますが拶く共空中を征服する國家は興隆し然らざる國家は衰亡すると云ふ事は斷言し得ると存じます、世界各國が國を擧げてこの事業の發達に向つて渾心の力を盡しつつある所以は全くこの點にあるものと存ぜられます、海洋を征服する者は世界を征服するとは曾て英國が世界に放言せる有名な言葉で御座いますが之は其の儘空中を征服する者は克く世界を征服すると云ふ言葉に云ひ替へらるるので御座います、否之が現代世界各國に於ける國力涵養の「スローガン」になりつつあるので御座います、之を最も端的に具現しつつあるものは現下世界注視の的となつて居る支那事變の實狀で御座います、この實狀を正視する人は必ず今申上げました言葉の至言であることを肯定し得ると存ずるのであります、而もこの事業の

發達を

促すことは科學の探究とあらゆる事象に堪へ得る身心の鍛錬に待つの外ないので御座います、諸君はこの人類最高の理想に向つて邁進されつつあるので御座います、洵に敬服惜く能はざるものが御座います、どうかこの重大なる使命を自覺せられまして競技に提はる競技は之を斷然排除し科學の眞髓攫取と眞の身心練磨とを期して最後の理想に向つて一層積極的に進まれんことを切望して止まない次第で御座います、終りに役員各位並競技參加諸君の御努力に依り本大會の有終の美を收められんことを御祈り致します、些かこの機に感想を述べまして式辭に替ゆることと致します

鄉軍分會射擊大會に 最優秀徽章獲得

一萬人に一人、保田氏の譽れ

三日開催された新京聯合分會主催分會對抗射擊大會に個人優勝の榮冠を得た第五分會員保田清之丞氏はその優秀なる技倆に對して帝國在鄉軍人分會滿洲聯合支部長より名譽ある表彰を受けたが、その名譽ある表彰とは昨年十一月三日を期して帝國在鄉軍人會が勅令團體となるに當つて特に制定された帝國在鄉軍人分會武道奬勵規定に基く射擊の最も優秀なる人に一萬人に對して只一人が授與される射擊の最高徽章を授與されたもので而してこの徽章はこの規定制定以來內地滿洲即帝國在鄉軍人會に於て第一回受領者で在鄉軍人としての最高榮譽にしてこの表彰は保田氏個人の譽れであると共に延いては第五分會の赤新京聯合分會の名譽ともなるべきものである

この最高の面目をほどこした保田清之丞氏は本年廿九歲、豫備役陸軍砲兵少尉で目下日滿商事株式會社庶務課に勤務、曾ては東洋拓殖大學の學生時代同校射擊會の主將として三年間の射擊平均四十三點と言ふ技神に入る名手である

射擊大會成績

帝國在鄉軍人新京聯合分會に於ては非常時局下の現時の情勢に鑑み第一線に活躍する帝國在鄉軍人の最も緊喫且重要なる問題とされてゐる射擊の訓練向上についてかねて分會對抗射擊大會の開催を計畫中であつたが秋晴れの三日午前八時半より陸軍射擊場に於て來賓聯合支部長中村少將を迎へ意氣沖天の緊張下に、各分會よりよりにすぐつた名手十名の選手によつて華々しく開催、左の成績を以て平素鍛へに鍛へた手練の技倆を遺憾なく發揮して多大の效果を收め名譽ある榮冠の勝者をそれぞれ褒賞午後零時半有意義に大會を終了した

▽分會對抗射擊
一等三〇〇點第二分會、二等二八五點第二分會、三等二八二點軍分會、四等二七五點滿炭分會五等二七四點電々分會、六等二六九點第三分會、七等二五二點第五分會、八等二四〇點中銀分會九等二三〇點第一分會、一〇等一九一點電業分會、

▽個人成績
一等四四點五分會保田清之丞氏、二等四一點電々分會〆野勇氏、三等四一點滿炭分會齊川貞夫氏、四等四〇點第四分會小出磯一氏、五等四〇點滿炭分會橫山平氏六等三八點第二分會相原保房氏、七等三八點第三分會白木秀助氏、八等三八點電々分會藤咲顯敏氏、九等三八點電々分會長谷濤氏、十等三八點滿炭分會井川喜太郞氏

美人探し寶探しに 淨月潭行賑ふ

▲土們嶺芋掘もお土產山もり

滿洲晴れの散策日和に惠まれた交通會社、T・ビューロー並びに本社の淨月潭探勝會は超滿員の盛況で十數台のバスを連ね午前十時赤黄とりどりの紅葉あざやかな水源地に到着、三々伍々漫々たる大貯水池畔の風光をめでつつ小丘に登り萬國旗に飾られた遊園地で呼物の寶探し、美人探しにうち興じ老幼を忘れ本紙掲載の變裝美人の寫眞を片手に彼女達の物色に山ちゆうかけめぐる、次々と見つけられる寶、美人每に歡聲は碧空にこだまして拍手の嵐なりもやまずそのうちに芙蓉町の仲崎君當年七才の幼年ながら炯眼よく銀パレスの榮子さんを探し四方から湧く物凄い歡呼の中に四等を獲得、興味愈よ加はりつくるところを知らず諸孃の巧みな變裝に一同やつきとなつて十二時扇芳會館の志賀さんを最後に美人もそれぞれ彼氏、彼氏に探し出され寶も殘りなく振りあてられ山積された賞品の授與を終り森洋行サービスの泰西の新譜に和やかな辨當を開き滿田淨月潭事務所主催の水源地の說明を聞き十二分の歡をつくし和氣藹々のうちに樂しい一日を終へて三時新京に向け歸路につき同四時西公園前で解散した【寫眞は淨月潭美人探し】

▽美人探し入賞者
一等 ハルミさん—中央通 伊藤（三〇分）
二等 近藤さん—金融路 渡邊（三五分）
三等 早智子さん—興安大路 櫻井（三五分）
四等 榮子さん—芙蓉町 仲崎（三六分）
五等 ヒバリさん—放送局 森（四五分）
六等 志賀さん—駐滿海軍 川崎（五五分）

▽寶探し入賞者
一等 扇芳會館 近藤槇子（大鏡台）
二等 大雅莊 田中太郎
三等 電業 松浦
四等 清和胡同 大內
五等 中銀社宅 桑原フヤ
六等 —

また芋掘りの一行は正午土們嶺に到着直ちに畠に入り吉林鐵路局土們嶺農事試驗場の丹精して育だてた見事な芋をわれ勝ちにと競つて籠にあまるお土產を用意し更に美しく彩られた裏山に手製の中食に舌鼓をならし山から山の漫步に爽涼の秋氣を滿喫し健康な一日を思ふさま跳梁して二貫目余づつの珍らしい藤摩芋を手に手に午後七時一同元氣で新京驛に歸着した

フルマラソン大會 金（新京）選手一着

新記錄二時五十三分五十秒

滿洲マラソン界最初の試みとして期待された廿六哩四分の一フルマラソン大會は滿洲陸上競技協會主催の下に秋冷の三日午前十一時忠靈塔前をスタートとして華々しく擧行された、定刻前參加選手十五名は先づ健康診斷を受け田島審判長引率の下に忠靈塔に參拜審判上の注意ありたる後午前十一時スタートを切つた、コースは忠靈塔より吉林街道胡家橋折返廿六哩四分の一でオリンピックマラソン正規距離で秋晴れの街道を十五名の選手は入亂れて疾走、遂に新京市金壽玉君は二時間五十三分五十秒の新記錄で午後一時五十三分忠靈塔にゴールインし見事一着の榮冠を獲得した、終つて午後三時閉會式に移り賞品授與、桑原會長の挨拶あつて散會した、成績左の如し

1金壽玉（新京市民）二時間五三分五〇秒、2嚴彬（新京工業）二時間五九分三二秒、3金仁煥（同）三時間一分二三秒、4鄭贊九（四平街）三時間四分四七秒、5白昌祚（新京工業）三時間一二分五秒、6獨孤（開原）一三時間五分一六秒、7季孝根8白利洽、9季圭鶴、10季春華【寫眞は左金壽玉君、右嚴彬君】

奉天の母子三人殺し 犯人逮捕

去月廿六日朝奉天白菊町八安原鐵路監理所長留守宅において就寢中の同氏夫人タマさん（三二）長男克彥君（六）次女マチ子さん（三）の三人が何者かのために兇器をもつて無慘にも頭部を打ち碎かれ室內一面を朱に染めて殺害された事件が突發するや奉天署では署員を總動員して實地檢證をなし犯人搜査を開始したが犯人の使用した兇器その他一切の手掛りとなるべき證據物件は一物も發見されず、怨恨、強盜の謎を孕んだまま未曾有の搜査難に陷つた、漸く廿九日急報によつて天津より急遽歸宅した安原氏によつてはじめて自宅簞笥內より證券二百圓、ダイヤ入り指輪ならびに寫眞機が盜み出されてゐる新事實が發見され、これにより搜査上に一點の光明を得た司法係では直ちに強盜說による搜査方針を確立、搜査の結果同夜市內江島町四番地小松古物商方でダイヤ入指輪が五十五圓で賣却され、續いて翌卅日青葉町十一番地高崎證券店で前記證券が百九十圓で賣却されてゐる事が發見され、更に一日に至り安原氏宅より竊取したと思はれる寫眞機を春日町森洋行に賣却せんとした者ある事實から俄然犯人の輪廓が明確となり、奉天署必死の努力は酬いられ三日午後五時頃吉葉町四番地先路上を寫眞機を肩より下げ何喰はぬ顏で通行中の犯人を奉天署楢崎刑事部長、津田刑事が發見、大格鬪の末逮捕取調べの結果犯人は熊本縣上益城郡木山町生れ現住奉天青葉町四番地池田末雄（二九）で本年六月市內日進館に女中奉公中の妻女を賴つて熊本より來奉したが永らくのルンペン生活で金に窮して惡心を起し、廿六日未明安原氏留守宅に侵入、金品を物色中タマ夫人が目を覺まし、廊下より戶外に飛出さんとするので追縋つて隱し持つたハンマーで後頭部を毆りつけ一擊の下に夫人を慘殺した、この物音に長男克彥君、次女マチ子さんが目を覺まし恐怖のあまり泣き出したので血に狂つた犯人は續いてこの二人をも殺害し、前記金品を盜んだ上姿を晦ましてゐたものである

フレンリーダ

古色蒼然たる廢屋に住む老狸あだかも古狸の如き感あるいや失禮、實は奇策縱橫の士鯉沼財務處長と坊ちやん重役然たる貴公子槇田總務科長の對照は正に市公署の一異觀である▼鯉沼さんが「ネー君宴會などで藝者が始めつから傍らにゐてチヤホヤされても喜ぶなよ、僕の彼女なんかは皆んな醉拂つた頃にネーコーサンとやつてくるネ、これが本當の遊び上手といふものサーといへば▼之を傳へ聞いた槇田ボーヤ「そんなのは未だマゴコロが足らないといふものさ、僕の彼女なんか始めつから終りまでマーサンマーサンだね、決して他の客のところへは行かない、これでこそほんたうに遊び甲斐があるといふもんだよ」▼古狸さんまだ文句アリヤ

けふの天氣 西の風晴
日の出 前六時三九分
日の入 後六時一六分
月の出 前六時一七分
月の入 後五時四三分
きのふの氣溫 最高 一三度一 最低 三度五

新京署庭球納會

夕刊既報午後一時より開催した新京署庭球部の納會試合は同署B、C組の優勝組各々に授與される藤島署長寄贈優勝カップをめぐつて庭球日和に惠まれ展開されたが、左の成績でC組領警署洪、丹治組、B組新京署張、西本組が優勝して盛況裡に閉會後、和氣藹々裡に祝宴を開いて午後五時閉會した

△C組 洪丹治（四—三）岡本胡川
△B組 張西本（四—三）塔尾菊池

白井氏採金社葬

滿洲採金株式會社では客月十二日匪襲に遭ひ殉職した同社金鑛監督員故白井彌三郎氏の社葬を四日午後四時より市內長春寺に於て執行する

新京區公示第二十二號

新京附屬地荷馬車通行取締規定左記ノ通制定セラレタルニ付公示ス

昭和十二年十月一日

南滿洲鐵道株式會社 新京支社地方課長事務取扱 菅野誠

記

新京附屬地道路ヲ專用道路ト制限道路ノ二種ニ區分シ左記ニ依リ荷馬車ノ通行ヲ制限ス

一、專用道路ハ荷馬車ノ種類索引馬ノ頭數ヲ問ハス自由ニ通行シ得ルモノトス

二、制限道路ハ鐵輪荷馬車ノ通行ヲ絕對ニ禁止シ左記ニ該當スル荷馬車ノミ通行ヲ許可ス
イ、ゴム輪（又ハ之ニ準スルモノ）ナルコト
ロ、積載量壹噸半以下ナルコト
ハ、索引馬ノ頭數ハ壹輛ニ付壹頭ナルコト
但シ驛前廣場ノミハ荷馬車ノ通行ヲ禁止ス

三、六米突以上ノ長大物ヲ運搬スル場合ハ荷馬車ノ種類通行道路ノ如何ヲ問ハス警察署ノ許可ヲ受クヘシ

四、荷馬車以外ノモノニシテ道路ヲ破損セシメ又ハ通行妨害ノ虞アルモノハ通行ニハ許可ヲ受クヘシ

五、本規定ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十二年十月一日

新京警察署 滿鐵新京支社

けふの番組

四日（月曜日）

朝

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、四五朝の音樂
八、二〇氣象通報
八、四五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（奉天）
時局と婦人
鐵路學院副院長　小林鐵太郎
一〇、二五料理獻立（哈爾濱）
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

晝

〇、〇一晝の演藝
國民歌謠　藤井洋三
獨唱　新京サロ
伴奏　ン・オーケストラ
一、皇國日本　中央教化團體聯盟會作詞並作曲
二、千人針　サトウ・ハチロー作詞、乘松昭博作曲
三、希望の乙女　大木惇夫作詞　須藤五郎作曲
四、朝　島崎藤村作詞、小田進吾作曲
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）ニュース・氣象通報（新京）
四、四〇經濟市況（大連・新京）
五、二〇ニュース（鮮語）
歌のお稽古
一、朝七時　趙光鎬
二、秋

夜

六、〇〇子供の時間（東京）
お話　スケッチを致しませう　山本鼎
六、二〇コドモの新聞（東京）村岡花子
六、二五商業常識講座
新京商業學校教頭　原島省吾
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演（東京）
資源局長官　松井春生
八、〇〇謠曲（東京）
大江山　梅若萬三郎　梅若萬佐世　梅若猶義
八、三五愛國歌謠曲（東京）
伴奏　コロムビアオーケストラ
合唱　コロムビア合唱團
（一）…松原操
イ、慰問袋を　高橋掬太郎作詞、古關裕而作曲（合唱付）
（獨唱中島けい子）
ロ、銃後の眞心　久保田宵二作詞江口夜詩作曲（二重唱・松島・中島）
ハ、響れの赤十字　久保田宵二作詞竹岡信幸作曲奧山貞吉編曲（合唱付）
（二）…松平晃
イ、決死のニュース　佐藤惣之助作詞江口夜詩作曲
ロ、華やかなる突撃　西條八十作詞、古關裕而作曲、奧山貞吉編曲（合唱付）
ハ、戰火の下に　佐藤惣之助作詞、奧山貞吉編曲（合唱付）
八、五五連續浪花節（岡山）
天保水滸傳の内　笹川繁藏（第一夜）玉川勝太郎
九、三〇時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一五ニュース再放送

義人長七郎（六十一）

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

お墨付爭ひ（三）

すると、軍平は

「それに就て、實てそちに預けてあるお墨付だが……」

と、言ひ出したのです。

豫期したことではありますが、お銀の胸は、一層烈しく躍りました。

軍平のつもりでは、お墨付は、一たんお銀から受取り、それを携へて、旅へ出る考へだつたのです。

お銀の方では、若し軍平が、お墨付を返せといつたら、どうしようかと、困つてゐるのです。するとその時でした。

不意に、戸外に人の近づいた氣配がしたのです。

「あツ、いけない。目明しの德吉かも知れない……」

お銀は、低く叫びました。

別に、軍平を脅かすつもりでもなんでもなかつたのです。只だヘッと思つた瞬間に、まつたく德吉が引返して來たのではないかと感じたので、その感じたまゝを、言つたゞけのことなのでした。

しかし、目明し、と聞いて軍平は狼狽しました。そして、前後の考へも無く、慌てゝ又た押入の中へ飛込んでしまつたのです。

そして、暫らく息を凝らしヂッと容子を窺つてゐました。が、それは、やはり此方の氣の迷ひで、人が來たのでも、なんでもなかつた、といふことが分りました。

自分の臆病を、自分で嘲りながら、軍平は再び押入から出て來ました。

すると、お銀が其處に居ないのです。

「オヤ何處へ行つたのだらう？」

と、何心なくヒヨイと戸口の方に眼を遣ると、丁度お銀の出て行く後姿が、チラリと戸口の隙間から白い襟脚を見せたのでした。

「お銀……」

と、いつて呼かけようとしましたが、軍平は、それよりも先づ、お銀の態度を怪しんだのです。何がなしに、疑ぐられてならないお銀の素振なのでした。で、出かゝつた聲が咽喉にひかへてしまつたのでした。

續いて、彼の胸にハタと應へたのは、お墨付のことです。

見ると、簞笥の小抽斗が、引抜いたまゝになつてゐて、小さな箱の蓋だの紙片なぞが、あたりに散らばつてゐます。

「しまつた！」

と軍平が叫びました。叫ぶや否や、飛下りて、戸口から外を覗いて見たのです。

裏通の狹い町は、まッ暗な夜の幕に包まれてゐます。

別に、家の中を調べてみたのではないが、軍平は、もうお銀がお墨付を持つて逃げたものと信じ切つてゐるのです。

しかし、なぜ彼女がそれを持つて逃げるのか、その理由は分りません。

「ひよつとしたら、それを證據に密訴して、自分を捕へさせようとするのでは無いか？」

とも考へてみました。

兎に角、愚圖々々してゐる場合でない……と、直ぐに、跡を追つかけました。

戀に狂つたお銀は、まるで夢中です。

軍平が、再び押入へ飛込んで與れたのは、まつたく天の與へでした。彼女はその隙に、お墨付を取出すと、それをシッカと懷に、ソツと戸口を跨いだのです。

そしてその行先は、言ふまでもなく、築地の長七郎の屋敷です。

お銀の目先にチラ付くものは、美くしい長七郎の笑顔です、彼女の魂も、身體も、その美くしい笑顔に操られ、夢心地で、夜の街を走て行くのでした。

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十月四日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

山西省の制空權 完全に我が手中に！

地上、空中ともに今や敵機を見ず

【天津四日發國通】天津軍司令部三日午後八時發表

わが部隊は三日をもつて遂に山西省における敵航空兵力および航空施設を完全に潰滅せしめたり、即ち十月一、二兩日太原飛行場を連續攻撃、敵飛行機ならびに格納庫を爆破し、更に三日午前九時廿分再び襲撃し殘存せる敵機ならびに格納庫その他軍事施設を破壞したり、地上、空中ともに敵機を見ず山西省內制空權は完全にわが手中に落ちたり

太原飛行場を猛空爆

【北平四日〇〇根據地發國通】三日午前九時卅分北支における空軍の敵根據地を衝くべく島田部隊の〇〇機、園田部隊の〇〇機、笹部隊の〇〇機、柴部隊の〇〇機は大舉して太原飛行場に對し猛烈なる爆撃を敢行した、果敢なわが空軍の威力に壓せられ一機も飛出さず、太原上空は全くわが軍に制覇された

この大爆撃により太原飛行場の格納庫前にあつた敵飛行機五機、その他重要施設は徹底的に破壞された、かくして山西の敵航空勢力は全く撃滅せられた

最早黄河以北に 敵抗戰不可能か

德州の陷落が死命を制す

【奉天三日發國通】津浦線に沿うわが部隊の進撃物凄く滄州の嶮を陷れてより旬日を出でずして省境を突破し、早くも山東省の咽喉德州を占領、敵兵は總崩れとなり一部は列車で、他は運河その他により故城、臨淸、高唐方面にチリヂリになつて潰走し最早起つ能はざる打撃を蒙つてゐる、皇軍の迅速は觸れるもの皆倒れ山東省政府の所在地濟南まで最早三十里足らずといふ進撃振りで、敵に陣容建直しの餘裕を全く與へず濟南の前方には黄河の流れが濁水をたゝへて蜿蜒として横はり天然の防備陣地を築いてゐるが、德州戰線における潰走振りを見るにこの天然の堅壘も今は用をなさぬものと見られる、なほ情報によると濟南方面は二日夜來の敗殘兵の南下とゝもに大動搖を來してゐる模樣である

四日朝までの支那各地戰況

▲山西方面　內長城線を突破して山西に入つた察哈爾作戰軍は繁峙、代州、寧武の線より山西の首都太原に向つて進撃、敵の前線五臺、原平、靜樂の敵を壓迫しつゝあり、空の荒鷲陸軍航空部隊は去る一日以來連日太原の空襲を敢行、同方面における敵空軍を潰滅軍事要地を全部爆破した、太原城頭日章旗のあがるのもこゝ數日のうちであらう

▲平漢、津浦線方面　平漢線西方淶源、靈邱方面の皇軍部隊は、察哈爾作戰軍と緊密なる作戰連絡の下に當面の共產軍混入部隊を撃破、これを西南方に驅逐しつゝあり、河北平原中央部を席卷しつゝ南下せる部隊はすでに饒陽をも手中に收めんとしつゝあり、津浦線德州に據る七萬の支那軍は三日午前十一時遂にわが沼田部隊に撃破され德州城頭高く日章旗燦として飜る

▲上海方面　劉家行方面の敵陣を突破して南下せる田上、石井、川並三部隊はすでに大場鎭北方四粁の地點に進出、一方

北陸宅、白沼を占據す

【羅店鎭三日發國通】永津部隊は〇〇部隊右翼との歷史的握手に勇氣百倍し三日早曉來緊密な連繫をとりつゝそれ〳〵攻撃前進を開始し、二時間にわたる空軍の攻撃と相俟つて浮足立つた敵兵を追及、午後一時永津部隊は北陸宅、下枝部隊は白沼を完全にわが手中に收めた

閘北の敵陣を大爆撃

【上海四日發國通】四日午前七時半よりわが海軍航空隊〇〇機はたちこもる朝霧を衝いて閘北戰線上空を飛翔商務印書館、北停車場の敵に對し猛烈な爆撃を敢行、轟音は上海の空を震撼せしめつゝあり、同戰線における最大の爆撃である

孟瀆、徐陽を突破唐橋に迫る

【〇〇にて四日發國通】二日午前十一時揚行鎭西南須宅の敵陣を陷れた福井部隊は、破竹の勢ひで殘敵を追つて吳淞クリーク岸の朱宅より寶家筓に到る村を占據、三日朝より吳淞クリークと荻涇クリーク合流點の崇明塘に向つて最後の攻撃を進めてゐる、谷川部隊の吉川〇隊はまたこれと呼應して大場鎭の敵からうちだす十五サンチ榴彈の雨飛する中を突進、孟瀆を陷れ徐陽を突破し、荻涇クリークを渡つて崇明塘の背後唐橋に迫つた、また空軍もこれに應じて雲低く垂れ雨模樣の空に勇猛旋回して大爆撃を加へた

下枝部隊は陳家宅、鄧家宅を占領、かくて廟行および江灣兩鎭の敵は完全に退路を斷たれ、腹背にわが精鋭部隊の猛撃を受けることゝなり、同方面の敵兵潰滅は目睫に迫つた

又わが陸戰隊によつて閘北の一角に追ひつめられた敵は進退共に谷まり、世界市街戰史上未だ曾つて見ざる頑強なる最後の抵抗をなしつゝあるも、陸に貔貅の進撃、空に荒鷲部隊の亂舞あり、大勢はすでに決したの觀がある

和知部隊 嘉定に迫る

【上海四日發國通】〇〇報道部三日午後九時發表

淺間、安達、永津各部隊は羅店鎭南方地區の敵を攻撃中なりしところ二日上海街道西側の敵陣地線を突破し三日午後上海街道西方約二キロ丁家宅南北の線に進出し、さらにその西方の敵を逐次西方に壓迫しつゝあり和知部隊および〇〇部隊は羅店鎭西方地區の敵に攻撃を續行三日午後張家宅南方の線に進出し、さらに當面の敵を嘉定方面に壓迫中なり、伊佐部隊、下枝部隊は攻撃を續行し敵陣地線を突破すること約二キロ、新木橋南方の線に進出、前面の敵を西方に壓迫中なり、劉家行および顧家宅附近の堅壘を奪取して前面の敵を攻撃中なり、石井、田上兩部隊は一部をもつて吳淞クリーク方面に戰果を擴張し主力をもつて顧家宅西方に向ひ刻々敵の抵抗を排除し川並部隊の攻撃と相俟つて三日午後相家橋南方の線に進出し當面の敵を西方に壓迫中なり

大場鎭の野砲陣 木ッ葉微塵

【上海四日發國通】四日池田定田兩中尉の率ゐる海軍航空隊〇機は篠原、金井兩勇士の弔合戰とばかり密雲を潛つて見事な低空飛行を行ひ大場鎭附近に猛烈な爆撃を加へ敵の野砲を木葉微塵に吹き飛ばし潰滅的效果を上げた

傅作義逃走

【平地泉四日發國通】綏遠にあつて部下を督勵してゐた傅作義は內蒙古軍の百靈廟進出に恐れをなし二日午後特別列車で包頭に至りさらに自動車十數臺を連ね五原方面に逃出したと判明した

敗將馬占山 追ひまくらる

阿片吸煙の七つ道具を腰に

【平地泉四日發國通】內蒙古軍の百靈廟奪還に際し北滿の敗將馬占山が何柱國麾下の騎兵部隊を率ゐて日滿蒙の三軍に追ひまくられ綏遠の曠野を彷徨ひつゝある事が判明し察哈爾作戰軍の將士を苦笑させてゐる、緣は異なものといふが察哈爾作戰軍に散々な目に合はされた嘗ての敗將が、今また美名抗日の鐵兜を被り阿片吸煙の七つ道具を腰にぶら下げて傅作義に叱咤されつゝ部隊を指揮する姿は浮世離れのしたあの駱駝の顏に微苦笑を浮ばせるだらうと戰場の話題となつてゐる

百靈廟奪還の蒙古軍 大祖に戰勝報告

內蒙古旗廟頭にはためく

【平地泉四日國通特派員發】大蒙古帝國建設の意圖に燃える錫林郭勒の若武者達は、わが〇〇軍の平綏線進撃に協力して興和、平地泉、陶林と內蒙古の曠野に侵入した支那軍を撃破し、さらに陰山山脈の積雪を踏み越え悍馬に跨つた蒙古軍の學生騎馬隊は東から西へ進撃して去る三十日拂曉イレストロゴイの曠野に出で折からの吹雪を衝いて百靈廟の堅陣にある支那軍に迫つたのである、この日陰山颪は午前より咫尺も辨ぜぬ猛烈な吹雪と化して蒙古軍の進撃に絶好の機會となつたのである、寢込みを襲はれた百靈廟の敵は西から東から奇襲戰に出た蒙古幼年隊に惑はされて同士討の後に西門より逃走を開始した、勇み立つた錫林郭勒若武者達は暴れ狂ふ悍馬に鞭ち算を亂して逃走する敵の隊伍に乘入れ、馬蹄でふみにじり蒙古の長槍でつきさしつゝ陰山の嶮を越えて包頭に逃れる敵をシマタダの部落で潰滅し、さらに馬首を東に轉じて武川に逃走する敵をサーベ廟に邀撃し、百靈廟一圓にあつた支那軍を完全に驅逐し、二日午後四時廿五分百靈廟頭高く內蒙古旗をひるがへし蒙古酒を汲み交して大祖成吉思汗の靈に百靈廟奪還を報じたのである

完州の激戰で 得丸〇隊長戰死

得丸副議長の弟で滿洲事變の荒武者

新京地方委員會副議長得丸助太郎氏實弟伸太郎氏は河北省完州の戰闘で遂に名譽ある戰死を遂げたが左の如き勇敢なる戰闘詳報がもたらされた

息の絶えるまで奮戰した得丸伸太郎〇隊長の豪膽は鯉登部隊長まで泣かせた、九月二十八日午後二時半頃得丸〇隊は約二千名の敵の大軍と遭遇し最初はこれに向つて應戰したが敵は頑強で何うしても退かない三時半に至り意を決した得丸〇隊長は突撃の準備に移り軍刀を拔くや自ら陣頭に立つて「突込め」とばかり敵陣へ飛込んだ、今一歩といふ處で左肩に敵彈を受けたが事ともせず「突込め」「突込め」と連呼しながら迫つた、その時敵は我軍に集注射撃を浴びせ得丸〇隊長は咽喉に第二彈を見舞はれ聲が出ないので軍刀を振翳しながら指揮してゐた、兵は見る〳〵倒れる、更に進まんとしたところ今度は右頸部に致命的敵彈を受けて遂に倒れた、然し豪膽な得丸〇隊長は軍刀を杖に立ち上らうとしたがどうしても立てない、また試みる、斯くする事數度立ち上らんと努力したが體に力を入れゝば出血甚しくなるばかり、之れを見た滿永政彥准尉は〇隊長に代つて奮戰したがこれも名譽の戰死を遂げた、この日の戰闘で得丸〇隊長と運命を共にしたもの二十三名、負傷は押川軍曹以下廿五名といふ四時間に亘る激戰であつた

得丸〇隊長は大分縣出身滿洲事變に天晴れ勳功を樹て功五級を拜受した勇士で今次事變にも花形として其奮闘振りには各部隊とも敬服してゐた

尚ほ實兄新京地方委員會副議長、商工日報社長得丸氏は語る

弟には昨冬父を失つた時に共に歸郷して種々話した、最後の手紙としては九月十日附で七月出征後平津間の雜兵一掃南苑の戰を最後として八月一日から約四十日間鐵道守備の任にあつたが愈々明日から平漢線の第一線に立ち中央軍と激戰する事となるので男子の本懷だ既に自分は五回の實戰に出て功五級を拜受して微傷もせぬとは餘りに幸運兒だ今回は保定沿線十萬の敵を撃滅だ必ず激戰が豫想され戰死する、後始末頼むと云つた手紙が最後です、だから弟も滿足して戰死した事と思ふ、只だ敵の殲滅を見ずして死んだのが弟の敗けぬ氣象として殘念だつたと思ふと淚が出る

なほ得丸氏は近日平壤の留守宅に向ふ豫定である

澤本大尉戰死

【羅店鎭三日發國通】和知部隊の澤本勝大尉は三日早曉を期して行はれた楊家宅前面攻撃の際滴る血飛沫を浴びながら敵の第一線を突破し、更に機關銃陣地に向つて猛烈な突撃を續行せんとした刹那、敵機關銃のため遂に三彈を胸部に受け壯烈な戰死を遂げた、同大尉は高知縣の出身、昨年一月陸大卒業の軍刀組、隊內きつての逸材としてその戰死を非常に惜しまれてゐる

芹川部隊戰死者

【上海四日發國通】芹川部隊の戰死者、二日砲兵上等兵橋淺次郎（富山縣出身）

安東で 我兵襲はる

一日午後十時半頃安東友枝部隊川名一郎上等兵が公用で安東驛より歸途北四條通り附近を自轉車で通行中、突然物蔭より三名の支那人が襲ひかゝり銃を奪はんとしたので大格闘を演じ川名上等兵は全身に五ヶ所の刺傷を負ひながら勇敢にも賊を退け、附近の安東中學校長宅に駈け込み隊に報告方を依頼すると同時に昏倒した

メルボルン名譽領事

メルボルン名譽領事ヨークサイム氏は夫人と二令孃を伴ひ滿鐵本社早川英文主任の案內で六日午後六時廿分着あじあで來京ヤマトホテルに一泊七日午後六時三十分のあじあで赴哈八日奉天に向ひ十日撫順往復朝鮮經由內地に向ふ豫定

人事往來

着京

▲岸信夫氏（會社員）三日來京國際ホテル
▲仁禮精淸氏（滿洲映畫協會）同
▲三橋楠平氏（華新紡織）同
▲福持壽雄氏（東洋紡織）同
▲薄平次氏（鑛業）同
▲長谷部唯丸氏（官吏）同蓬萊ホテル
▲和田春彥氏（滿炭社員）同
▲樋口一夫氏（同）同
▲片山登志男氏（會社員）同
▲中田初雄氏（官吏）同富士屋旅館
▲內田寅次氏（同）同
▲大阪彬一氏（會社員）同
▲長谷川常吉氏（印刷業）同
▲淸水孫秉氏（冀東銀行顧問）同ヤマトホテル
▲平山敬三氏（同）同
▲木原楯次氏（アドレス商會）同
▲伊野勇夫氏（會社員）同國際ホテル
▲金政植氏（官吏）同
▲牧野三好氏（同）同
▲岡野一氏（滿炭技師）同
▲大石高行氏（滿炭社員）同
▲辻眞卿氏（商業）
▲大高洋太郎氏（官吏）同
▲長濱邦雄氏（同）同
▲河合龜次郎氏（同）同
▲川畑鶴淸氏（鑛業）
▲札野茂氏（會社員）同向陽ホテル
▲伊藤兼行氏（同）同
▲吉野實氏（同）同中央ホテル
▲蒲田淸氏（中銀主任）同
▲岩田廣次氏（木材商）同
▲岩田敬二郎氏（會社員）同都ホテル
▲伊藤祐氏（官吏）三日來京帝都ホテル

出發

▲中村榮治氏　三日發釜山へ
▲飯泉孫次郎氏　同哈市へ
▲今井三郎氏　同奉天へ
▲須崎健氏　同延吉へ
▲生方四郎氏　同
▲北川淸氏　同奉天へ
▲吉野治夫氏　同大連へ
▲金庭秀松氏　同敦化へ
▲山崎陳平氏　同奉天へ
▲木下寅雄氏　同
▲高木信氏　同營口へ
▲長谷川常吉氏　同大阪へ
▲永濱天一氏　同奉天へ
▲河本市郎氏　同安東へ
▲須賀藤五郎氏　同京城へ
▲水田淳亮氏　同奉天へ
▲久保田豐氏　同京城へ
▲赤羽石氏　同大連へ
▲中村繁氏　同吉林へ
▲和田壽夫氏　同奉天へ
▲古垣內森一氏　同鞍山へ
▲佐藤實氏　同京城へ
▲川村兌三氏　同奉天へ
▲澤田一郎氏　同牡丹江へ
▲小西幸次郎氏　同奉天へ
▲佐藤忠雄氏　同哈市へ

その日〳〵

□もはや黄河以北に抗日の敵をゆるさず、まさにこれは決河の勢ひである

□百靈廟では內蒙軍の戰勝報告祭、成吉思汗の後裔たる勇姿が眼に見えるやう

□馬占山は生きてゐた、但し阿片とゝもに、そして吸引道具持つて又逃出した

□將軍小學校視察、第二の小國民たち張り切つて讀み且つ歌つたことであらう

□愈よ少年移民も來る、この方面の施設と方策あくまで周到を期して欲しい

將軍の案ずるもの
小國民の時局觀
植田大將西廣場校を巡視
全職員生徒に訓辭

國民教育殊に第二國民の養成に意を注ぐ植田全權大使は非常時局下に於ける小學校教育を視察のため四日午前九時廿分桑原參謀その他關係者を隨へ官邸を出發、西廣場小學校に赴き二時間に亘つて瀨川校長より兒童の教育狀況を詳さに聽取、授業狀況を巡視し、無垢の小學兒童が喜々として勉學にいそしむ有樣に接した後、同校講堂に於て在京日本各學校長に對し現下時局に對する國民教育の涵養と教育者の覺悟に就き訓示を與へたが軍司令官の小學校視察は建國以來最初のことで西廣場小學校職員、生徒一同を初め在京日本教育者は感激してゐる

★

午前九時卅分西廣場小學校に到着の植田軍司令官は瀨川校長の先導にて校長室に入り教育概況を聽取の後、三年二組の算術(男子)五年一組(男子)の修身、女子六年一組の歷史の各教室に至り授業狀況を續いて衞生室を視察の上、圖書室に少憩して瀨川校長より

一、兒童の近視眼狀況
一、課外雜誌の購讀狀況、映畫觀覽狀況
一、冬季の運動方法

に就き質問をなし、運動場に出て一年生の兒童が無邪氣に教師の指揮に打興じてゐる樣をみて再び五年二組、理科室の授業を參觀、校醫室で兒童の書食狀況、内地生れの兒童と滿洲生れの兒童との融和狀況等に就き質問を重ねた

★

最後に講堂に於て國民教育と支那事變を中心とする現狀に就き教育の最も必要なる旨を力說、更に一層の努力を望む旨を述べて同十一時半司令部に歸還したが、一同は軍司令官の溫情に感激、瀨川校長は涙を以て教育報國に殉ずる覺悟を答へた【寫眞は教室の植田軍司令官】

今年の眼目は家庭燃料の節約
―煤煙防止會の事業大綱―

新京煤煙防止委員會では本年度事業の大綱方針を家庭燃料の節約に置いてゐるが、國防婦人會、國防婦女會を動員する具體的計畫に就いてはかねて軍當局と詳細打合せ中の處軍當局も國策的立場よりその趣旨に贊同し講演會、映畫會座談會を開催各新聞社後援のもとに趣旨の徹底に協力することとなつた

「非常時と燃料」
講演と座談會開催案

(開催の趣旨)

時下非常時局を反映し、國防資源としての燃料の重要性漸々大となるに鑑み、特に滿洲に於ては多量採掘用石炭の數量は少からざる額に上るを以て、一般家庭に於ても之が消費の合理化並節約に努めしめ併せて煤煙防止に效果あらしめんとす

(方法)

一、講演會開催

(イ)講師

「非常時と燃料に就て」(交涉中)

「煙を出さない石炭の上手な焚き方に就て」新京衞生工業會々長中根技師　佐藤壬一

(ロ)映畫

炭都撫順(石炭はどうして掘られるか)

國都建設記念式典映畫、事變ニュース最新版

(ハ)期日　十月八日(金)午後一時

(ニ)場所　日滿軍人會館ホール

(ホ)主催　國防婦人會新京支部　國防婦女會首都支部　新京煤煙防止委員會

(ヘ)後援　大新京日報社　日滿商事株式會社　新京日日新聞社

二、座談會開催

講演會終了後有志集合、煤煙防止委員會幹事、日滿商事會社員出席約一時間座談會開催の豫定

順天號に又復コレラ發生

【天津三日發國通】順天號は二日朝またもや眞症コレラ患者二名を發生し完全にコレラ船たる刻印を捺されるに至つたので、天津治安維持會の通告もあり、同船船客の上陸は遂に不可能となつた

斃死馬は炭疽病

三日寬城子李恩公屯三道街門牌十三號劉滿福の所有馬が斃死したとの報に首都警察中野獸醫が早速かけつけ檢證の結果炭疽病と確診されたので斃馬を燒却處分に附し大消毒を行つた、今のところ他に傳染の模樣はないが附近一帶に警戒してゐる

軍からの慰問金をその儘恤兵獻金
原本俊雄氏の家族から寄託

三日午後本社を訪れた中年の一女性、ふくさ包みを差出し實は私共の主人が出征して居りますので、軍の方ではお心にかけられ、昨日憲兵隊を通じて留守見舞に頂きましたのですが、幸ひにも只今のところ不安もなく暮らしてをれますから、お志だけをいたゞき、これをそのまゝ皇軍慰問金にお加へ下さいますやう、御手數で恐入りますが可然との申出、たゞく感激のほかなく、今日は日曜ゆゑ明日早速獻金の手續きをするからとこれを受託した、尙ほこれは子供が兵隊さんにあげて欲しいと申しますのでと金三圓在中の封筒を同時に寄託された この奥ゆかしい婦人は如何にたづねてもそれだけはどうぞと辭退されるので遂にそのまゝにしたが、關東軍からの慰問金は寫眞通り原本俊雄氏の夫人であることだけは判明し

國際見本市から

【ケーニヒスベルグ發】八月十五日より四日間獨逸ケーニヒスベルグで開催された國際見本市には滿洲國も參加し、多大の好評を博した、寫眞は滿洲館におけるチーゼ博士、加藤滿洲國通商代表、鹽田滿洲特產中央會ベルリン駐在員、コーメ・フオアス博士、田村氏

全滿軍用犬競技大會第二日

第二回滿洲軍用犬訓練競技大會第二日目は三日午前八時五十分より加茂小學校々庭において高柳會長以下各役員、來賓ならびに一般觀衆多數參會全滿各地の優秀軍用犬卅五頭出動の上盛大に擧行、先づ國旗掲揚、國歌合唱に次ぎ優勝旗、優勝盃の獻納式あり、參加軍用犬の場内一周示威行進の後午前九時半町山審査委員長以下審査委員の手によつて一般訓練に對する全面的審査が行はれ

一等　ジヤツク(大連望月氏所有)

以下入賞犬に賞狀ならびに關東軍司令官盃、高柳會長盃を授與された

第二回少年移民團元氣で新京着
第一線に來て更に緊張新

嫩江に入地する第二回少年移民團百四十名は滿洲移住協會近藤指導員に引率されて四日午前九時四十二分着列車で來京

來京

一と先づ帝都ホテル、大平旅館、大和旅館、太陽ホテル、大丸旅館に分宿午前十時三十分新京神社を參拜十一時忠靈塔を參拜、十一時卅分關東軍司令部訪問參謀長代理國分中佐の訓示をうけ十一時五十分滿拓委員會事務局を訪問稻垣事務局長の挨拶をうけついで滿拓公社を訪問坪上總裁の挨拶をうけ康德會館屋上から國都の發展狀況を望見し正午滿拓公社で晝餐を攝り午後一時から一時三十分まで移民事情の說明を聞き午後二時國務院を訪問星野總務長官の挨拶をうけ各戰跡を見學して

一泊

五日午前九時二十分發京濱線で北行の豫定である、同移民團は東北各縣中部地方出身の年齡十五歲から十八歲位までの少年である、なほ五日午前九時四十二分着列車で第二陣六十名が到着の豫定である

既存漁會を縣實行合作社に改組
農事合作社の統制運用を實施

國内水產業の發達を促進するため政府はさきに水產行政の統一整備を實行し、水產市場の統制監督及び淡水、海洋漁業調査を引續き

實施

し、且つ過般制定されたる漁業取締法によつて漁政の根本的運用方針を確立したが、國内における海產物需要の激增にともなひ水產額の增加をはかるためには現在全滿主要河川流域および沿岸都市に散在せる「漁會」の改組充實を斷行する必要あり、政府はこれが對策を詳究中であつたが、その後農事合作社設立の實現によつて水產業を廣義の農業に包含せしめ從つて單獨の漁業組合設立は廢止されて今後農事合作社の縣水產實行合作社として一律に改組整理されることに決定した、而して現在の漁會は漁民の任意團體として政府の設立助成方針の下に康德三年に組織されたもので奉天省七、錦州省五、安東省六であるが、政府は來年度より各省に水產技士を配置せしめると共に、更に沿岸および主要河川(嫩江、松花江、第二松花江)その他湖沼および特殊根據地每に一縣一實行合作社の方針の下に既存漁會の改組整理および新設を行ふことになり、來年度豫算に

經費

を計上して可及的速かに實現を期すことになつたが、こゝにおいて農畜水產の全分野に亘つて農事合作社運動の一貫せる統制運用が實現することゝなつた

六大學リーグ

【東京國通】帝立第二回戰は四A對二で立教が再勝した

△スコア

帝大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
立教	1	0	0	0	0	0	3	0	A	4

△バツテリー

帝大　久保田―五島
立教　小山―成田

▲明治再勝

明法二回戰は五對二で明治勝つ

△スコア

明治	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
法政	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

△バツテリー

明治　長谷川―櫻井
法政　佐藤、三森―村上、竹内

懷しの協和會
成育振り如何
本庄大將來京を機に懇談會

滿洲國建國の功勞者であり、また協和會の生みの親たる本庄繁大將は六年振りに懷しの滿洲に足を踏み入れてより第二の故鄉に歸つた樣な喜びをもつて各地における歡迎會の席上その心境を披瀝してゐるが、協和會の發展に對しては特に關心を持ち入京を前にして同大將は協和會中央本部宛に「新京始め今後視察する各地の協和會員と親しく懇談したい」との意味の書信を寄せた、協和會でも非常に感激し直ちに視察豫定の各省本部に打電、目下日取りその他を打合せ中であるが、新京では中央本部が主催となり溥傑上尉夫妻の結婚披露宴終了後の日を選び協和會館において中央本部、首都本部役員ならびに參與を網羅し大歡迎會をかねて懇談會を催すことゝなつた

在外同胞の後援熱
大成丸から

【橫濱國通】東京高等商船學校練習船大成丸は全航程九千浬の航行を終へ三ヶ月振りで三日午前橫濱へ歸つて來た、岸先任教官の土產話

橫濱出帆數日後に北支事變の勃發を無電で知つたが、詳しいことは判らず心配しながら四十三日目にホノルルへ到着、同地の邦字新聞で漸く皇軍の勝利を知つて一同思はず萬歲を叫びました、同胞の事變熱は大したもので本船の入港をまつて時局講演會を開催、船長、士官などが壇上に立たされたが、その場で恤兵金が集つた程で、本船に托して銀紙五百ポンドを陸軍省へ獻納する邦人もあつた

滿鐵殉職社員追悼會執行

滿鐵では十二日午前十時から大連本社裏殉職社員記念碑前に於て會社殉職社員追悼會を執行することゝなつた、當日は大連在勤社員は追悼會終了後大連以外在勤社員は午前十時三十分を期し一齊に三十秒間默禱を捧げ自由早退し敬意を表するやう社報を以つて發表した

大橋大會々長設宴

滿洲飛行協會主催第一回グライダー競技大會は三日空前の盛況裡に終了したが大橋大會々長は同夜六時から役員、選手一同を日滿軍人會館に招待し慰勞宴を催し席上關東支部記錄映畫を上映歡談して散會した

康德吉租股份有限公司設立

三菱地所株式會社で經營の康德會館並に白山住宅等に關する業務一切を新設の康德吉租股份有限公司が繼承十月一日から開業した、因に同公司幹部は左の如くである

董事長赤星陸治、專務董事龜山誠、董事谷田友治、同樋口實、同井上德三、監察人寺澤鍵二、同渡邊武次郎

飲食店組合役員

飲食店組合總會で新役員に決定した左記三氏は新任挨拶のため四日午前來社した、組合長長崎平次部(重任)副組合長市川憲治(新任)會計安藤善作(重任)

イカリ星ストーブ

新京石炭商組合ではイカリ星ストーブを販賣してゐるが同ストーブは燃料の經濟に特に意を注ぎ製作されてゐるので時局柄燃料國策上塊炭使用困難なる時日滿商事株式會社より推奬され好評である

あす(十月五日)

▲電氣週間第五日
▲通關座談會、午後三時、公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇　謠曲「大江山」(東京)梅若萬三郎外▲八・三一愛國歌謠曲(東京)松原操外▲八・五五　連續浪花節第一夜(岡山)玉川勝太郎

演藝映畫

"敵國降伏" 内務省推奬映畫となる

十月第一週を期して京、阪、神、中京に一齊封切された京都超大作敵國降伏はノーカットで檢閲をパスし、これこそ時局に適合した優秀映畫と激賞され、内務省推奬映畫と決定した、推奬の理由は左の通りである

本映畫は、日本歴史として光輝ある一頁、元冠の役を詳細に描寫し、且つ又世界に冠たる日本精神を遺憾なく發揮し、製作企畫、脚色撮影等、内務省の求めてゐる標準に到達しており、出演俳優も、良く時局を認識して演技の上にその熱誠振りを現はし、殊に從來、重要視せられなかつた時代考證に萬全を期する等、際物的、又は宣傳的映畫の企畫に非ず現今の時局に當つて國家の方針と合致せる日本映畫の最高水準を示す優秀作品として玆に推奬す

尚ほ、この映畫は、内務省は勿論、文部及び軍部よりも、「こうした優秀映畫は全國民一人殘らず觀賞する樣、大いに宣傳して欲しいと激賞してゐる、新京封切は十一月第一週長春座に行はれる豫定

内閣情報部が「スパイ戰線を衝く」推薦

新しき日本の頭腦の中樞として乘り出した内閣情報部は映畫その他の文化機關を通じて親しく國民に呼びかける方針であるが、先づ東和商事提供獨逸ウファ製作の準戰爭映畫「スパイ戰線を衝く」の試寫を行ひ、異議なくこれを第一回推薦映畫として廣く國民大衆への觀賞をすゝめることになつた、これは、獨逸政府及び陸、海軍後援の下に製作した映畫であるが、内閣情報部長横溝光暉氏の名でその推薦理由として、次の如く言葉を寄せてゐる

今や列强が爭つて綜合的國力の充實に腐心し軍備の擴張のみならず、産業に、經濟に、政治に、外交に、凡ゆる秘術を儘して、他國に一歩でも先んじようとしてゐる、斯る時こそスパイの跳梁する秋で、我國は近代戰の經驗を持たぬから、スパイに對する心構へは全然缺けてゐると言つても過言ではない、國民の一人々々が常に細心の注意を拂はねば到底スパイの跳梁は防ぎ得るものではない、この映畫は獨逸政府がスパイの如何に恐るべきかを示し、之と如何に戰ふかを敎へるために製作したものであるといふが、その國防的敎育の上に於て裨益するところ尠からざるべく映畫的にも傑れてゐるものと認められる乃ち内閣情報部は本映畫を推薦する次第である

▽▽若葉の夢△△

松竹大船作品、川崎弘子、高杉早苗、佐野周二、廣瀨德の共演する映畫で、片岡鐵兵の原作を柳井隆雄が脚色、佐々木康が監督に當つた作品である、私生兒として育つた斧子は同じ父を持つ妹初江のゐることを知らなかつた、奇しくも二人は一人の青年を中に、姉は戀人として、又妹は父の取決めた許婚として共に苦しい交渉を續けなければならなくなつた、然し妹の初江の方には別に心に決めた愛人がゐたゞ彼は初江を裏切つた、宿命に結ばれた姉妹の悲劇がこゝから大きな暗影を投ずるのだ、助演者は吉川滿子、奈良眞養、西村青兒等、長春座八日封切

さぼてん

〃國民精神總動員〃講演會場には閑古鳥がないてゐても喫茶店のサロンには月給雀が賑やかに囀つてゐる「絶望と享樂」の時代的傾向を如實に示してイカンなし▼主なる喫茶店がコーヒー値上げを聲明してファンどもをして、「コリヤやりきれん」を驚した直後▼だから摩訶不思議といふべし▼事實、コーヒー値上をせぬ店はどうも二流に見えて貧相だとあつては、これをしも逆効果といはずしてよからうや、と三嘆せざるを得まい▼「ニユー銀座」や「フヂヤ茶館」等の如き瀟洒で明るい店が迎へられてゐる事を此際業者は注目してよからう▼「銀パレス」には摩耶子、千秋「ニユー銀座」には雅子、眞弓と夫々新人がデビユした、モダンでリフアインされた東京直輪入である、尤も眞弓は銀パレスから純喫茶の方に『轉向』したのだが『彼女は何故轉向したか』といふが如き主題はフアンの胸を揉ませることと夥しからう

雜音

「美しき鷹」がこの土地で競映のもの形となつたのは東寶と新興と魁少し遅れるらしいが、日活は近く揭るらしい、生した志賀曉子と賣出しの轟夕起子の競演▼この種のものは何んと言つても女優さん第一であるから、興味はかゝつてこれら女優さんの個性にあるのだが、さてこゝではどこでどう客足を惹くか、興味あることだ▼長春座は八日から「若葉の夢」と「流轉」これに「特高警察隊」がゆく、川崎高杉、佐野、好太郎、森靜子など仲々賑やかな顔觸れだ

舊十九月二日　九月五日
火曜　乙丑　佛滅　定　觜宿

- ●一白の人　何事も無理押しすれば力を損ずるに過ぎず巳と未と壬が吉
- ●二黒の人　物事は存外捗らず平安無事なれば滿足せよ丙と庚と亥が吉
- ●三碧の人　運氣沈み勝にて何事も退歩の日手控が肝要甲と辛と壬が吉
- ●四綠の人　氣運停滯して意の如く行はれぬ日辛抱第一乙と庚と辛が吉
- ●五黄の人　我意を張るために成就すべき事も破るゝ日丙と丁と庚が吉
- ●六白の人　身分の向上家庭の繁榮を呈すべき大吉の日丁と辛と亥が吉
- ●七赤の人　忠實に本分を守り漸進して喜慶現はるゝ日甲と巳と丙が吉
- ●八白の人　努力は前途に光明を見出すべし又和合專一巳と丙と辛が吉
- ●九紫の人　熱心と勇氣とにて難關を打開し得べき吉日乙と辛と壬が吉

秋植球根と牡丹の配布

長野縣下高井郡延德村の大農園は有名な栽培場であるが本年も植付時期が來たので例年通り希望者には送料實費と荷造り費として郵券三十錢を送れば早咲チユリツプ、ヒヤシンス、クローカス、春咲ムスカリー等取合せ三十球一組を送り六十球は五十錢又優等鉢植用牡丹は二株六十錢四株一圓等にて何人にも送附する由

九月の新京取引所
波瀾狀況で推移
大豆、高粱とも强調を呈す

新京取引所における九月中取引狀況左の如し

△混保大豆　先物＝天候順調新穀出廻亦接近せるに輸出は引續き不振を極め環境頗る不良なため、月初二日九月限五圓六十五錢十月限五圓十八錢と立會ひてより落潮熄むところを知らず、四日當限は遂に五圓卅六錢と下押し、他限亦追從して各限孰れも最安値まで崩落を演ずるに至つた、しかるにこの安値には實需筋の買氣をそゝり一方歐洲との成約も見、環境頗る好轉、邦外商の轉出筋一齊に買進んだため十日九月限六圓四錢と六圓臺回復を見るに至つたが、中旬に入るや新穀出廻りの聲弗々聞えはじめたが中秋節の休會を控へて一般に見送られ、不勢裡に相場一高一低を辿つた、しかるに休會明くるや端境期に際して買氣案外にも潜在せる折柄、天候不良と貨車繰不安に氣配は頓に硬化し、埠頭在貨亦急減して月末には遂に一千車臺を割り新年度への持越量も豫想外に僅少なること判明、ために賣方の狼狽煎れを誘致し、輸出筋の買進みと相俟つて奔騰を續け廿九日九月限は六圓廿八錢と强調に納會（受渡廿九車）十月限は卅日六圓ドタにてこれ亦强調裡に越月した

九月中出來高	
九月限	四、三八八車
十月限	一、九〇八車
十一月限	七車
合計	六、三〇三車
一月以降累計	六八、六七一車

△高粱　先物＝環境安に二日九、十月限共に二圓九十四錢の同事の安値にて立會つたが飼料原料に對しては大藏省の爲替管理が緩和されるとの報を好感し、賣物薄も報ぜられて忽ち急騰を演じ、一方大豆高も加はつて上旬は三圓卅錢摑みの强調を呈した、中旬は不勢に推移したが、下旬に入るや極度の品掠れを示現したゝめ受渡期を控へて賣方の手仕舞急を告げ九月限は三圓五十五錢と上伸を演ずるに至つたが、廿九日三圓四十錢と稍々落着き受渡四車をもつて納會十月限は廿四日の三圓卅七錢以後出來不申にて越月

九月中出來高	
九月限	二一車
十月限	一〇車
計	三一車
一月以降累計	二、二四二車

新京取引所
前週取引週報

混保大豆　先物　週初二十七日九月限六圓十一錢、十月限五圓六十八錢と天候恢復と共に六錢方下放れて寄付き、跡輸出筋買に引戻したが利喰賣物に再び軟化を見た、然るに端境期に際して歐洲市況强調を呈し、船積物亦旺盛を極め輸出筋活潑に買進んだため、埠頭在貨は遂に一千車台を割り、新年度への持越量の如きも豫想外に僅少なること判明し、好材料の堆積に週末へかけて相場は逐日昂騰を演じ、週末三十日には買一服と共に一時小反落を見たが依然騰勢は强く、週末二日十月限六圓十八錢と吹上げたが、利喰と高値警戒に六圓四錢と反落して越週した尙九月限は二十九日六圓二十八錢、受渡二十九車を以て納會した

	高値	安値	出來高
	圓	圓	車
九月限	六、二八〇	六、〇九〇	一、一三二
十月限	六、一八〇	五、六五〇	一、〇四〇
十一月限	五、九八〇	五、七八〇	一
本週總出來高			二、六〇四車
一日平均			二六七車

高粱　先物　九月限は二十八日三圓三十八錢、二十九日三圓四十錢と各一車宛商內があり受渡四車を以て納會したが、他限は出來不申に終りたり

	高値	安値	出來高
	圓	圓	車
九月限	三、四〇〇	三、三八〇	二
本週總出來高			二車

新京金融組合
九月業務情況

▲組合員　加入六名、脫退二名、現在九七九名
▲出資口數　增加八五口、減少一〇口、現在五、五四三口拂込濟出資金二〇二、〇〇〇圓
▲預り金　預り高七〇六、八六三圓、拂戾高六六九、七二二圓、現在一〇〇九、四二五圓
▲貸出金　貸付高一〇五四、五六一圓、回收高九八七、七六五圓、現在一四二三、三三二圓

九月に於ける金組情況は前月の閑散に引換へ俄然季節物需要と相俟つて需資旺盛にして前記數字に示す如く貸出金百四十二萬圓余を超え預金又百萬圓を突破した、新營業所へ移轉と共に益々事業繁忙を來し客足頓に增加した、一方市中側の商況を見るに急に冷氣を帶びた昨今、各店舖街も季節物大賣出の商戰に大童の形、カフエー・飲食店等もをさをさ顧客吸收に餘念がなく只だ花柳界のみはパッとせず沈滯の一路を辿つてゐる、土木建築は諸工事も亦釣べ落しの秋陽ざしに急き立てられ竣成を急ぎつゝある

中秋節前後の奉天
一般商況不振
重工業だけは未曾有の活況

中秋節前後における奉天市內經濟狀況を見るに、一般商工業は夏枯期につゞく支那事變の勃發により經濟界の見透しつかず取引を引締め掛金回收を急いだ結果商況不振に陷つたが、回收は昨年に比し一般に好成績を示してゐる、就中特產商方面は出廻期に先高を見越し比較的高價をもつて取引されてゐたが、その後歐洲における油脂界不振で反落、事變勃發に伴ふ暴利取締等の影響を受け卸商は相當打擊を蒙つてゐるが、これに對し重工業方面は軍需景氣に一層拍車を加へられ自動車、機械製造工場等は未曾有の活況を呈してゐる、主要部門の概況を示せば左の如し

△商業方面

一、綿糸布　六月以來日滿經濟ブロックの强化安定を傳へられ賣行良好であつたが七月米棉暴落に加へ時局激變により相當賣行あつたに拘らず揚高は昨年同期に比し五割方減少、又ストック多量を有するものは少からず損害を蒙つた模樣である九月に入り多物加工のため漸く市場は回復して來たが北支明朗化により逐次活氣を呈するものと思はれる

二、特產商　歐洲市況その他の影響で特產商の期待裏切られ反落の結果約二割方の損失を受けたが、さらに新穀出廻期に向ひ相場下押は免れないので糧棧商等は成行を憂慮してゐる

六、七、八月の夏枯れに引續く時局激變の影響を受け中小商店は不振に陷り端午節に比し三割方の賣上減少を呈してゐるが、大商店殊に百貨店方面には現金主義をとり掛金回收を急いだ結果、大體八割以上の回收を見てゐる

△工業方面

重工業は昨年來日本の軍需景氣とゝもに活況を續け事變勃發とゝもに一層拍車を加へられ滿洲工廠、同和自動車はじめ鐵西一帶の軍需工場は稀に見る活況を呈してゐるが、その他一般工業は閑散を告げ中小工業者は操業短縮で漸く經營維持に當つてゐる狀態で麥酒、煙草工場等が稍々良好で昨年同期に比し一、二割方の好績を示し土建業が官衙、會社等の建築工事で依然盛況を示してゐるのが注目される

△金融方面

事變のため中國向爲替は殆んど中絕し端午節に比し三分の一に減少、一般貸出は稍々引締氣味に終始したのに對し預金は九月上旬より漸增を辿つてゐる、國內銀行帳尻（中央興銀を除く）を示せば左の如し

	九月一日	九月廿日
預金	四、三〇六、九三三	四、九六六、一〇六
貸出	一〇、九五六、四〇六	一〇、九三六、八〇六

△勞働方面

本春以來支那政府の一般勞働者入滿阻止により苦力の激減を來してゐる上に、今次事變の勃發で北支方面より入滿苦力全く杜絕し滿洲國產業五ケ年計畫に伴ふ產業各部門の勞働力需要の激化により未曾有の苦力は勞銀その他好條件に惠まれ何れも生活狀態が裕福となつた、中秋節における市內勞賃左の通り（括弧內は昨年同期）

職工	一圓六十錢	（五十錢）
煉瓦工	二圓	（一圓卅錢）
木工	一圓八十錢	（一圓卅錢）
鐵工	一個五十錢	（七十錢）
一般苦力	一圓二十錢	（六十錢）

製油工業振興の
三分科委員會

年々衰頽の一途を辿る國內油房工業の改善復興をはかるため當業者、特產中央會および政府關係官により組織された製油工業振興委員會は過般の第三回委員會において新たに左の三分科委員會を設け油房振興對策の具體的討究に着手することになつた、即ち

第一分科委員會　新規工業
第二分科委員會　既存油房
第三分科委員會　國內消費

しかして各分科委員長には夫々佐藤滿鐵中央試驗所長、津田鑛工司工政科長、野田企畫處參事官が就任、今後は專ら分科委員會のみを開催し、各科別の具體的對策を樹立した上で全委員會を開催することになつたが、特產中央會は分科委員會組織後第一回の各分科委員會を一、二、四日の三日間にわたり大連滿鐵社員會館において開催し、佐藤委員長以下各委員、幹事出席の上總括的に今後の議事々項其他種々協議打合せをなすことゝなつた、なほ分科委員會の日程は左の如し

一日第三分科、二日既存油房、四日新規工業

滿洲に於ける電氣事業
の過去、現在及將來（上）

滿洲電業副社長　山崎元幹

一、前言
二、滿洲に於ける電氣事業の沿革
三、滿洲に於ける電氣事業の現狀
四、滿洲電氣事業の將來

一、前言

電氣は空氣或は水と等しく我々の日常生活に最も密接な關係を有するものでありまして之が進步發達は直ちに吾人の生活向上に資するものであり同時に一國產業の伸展に至大の影響を持つものであります言葉を換へて申しますならば一國に於ける經濟文化發達の程度はその國の電氣利用の程度によつて察知することが出來ると申して過言でないのでありま す、私は記念すべき電氣週間に當りまして、斯かる文化水準の尺度たる電氣の利用度が此滿洲國に於て果して如何なる發展段階にあるか又如何なる程度に發達してをり、且どの程度に發達してをり、と云ふことに就きまして暫く御話申上げて見たいと思ひます

二、滿洲に於ける電氣事業の沿革

先づ滿洲に於ける電氣事業が今日に至る迄の經緯に就き申上げますと、滿洲に於ける電氣事業は、日本に遲るること十五年、當時南下政策に餘念のなかつた舊帝政ロシヤが滿洲經營の根據地として大連に發電所建設を計畫しまして、一九〇二年十月點燈事業の開始を見ましたのがその濫觴であります、此のロシヤ側の施設は、間もなく日露戰役により、日本側に繼承されましてり、其後滿洲に於ける電氣事業は大部分が日本の資本、技術によつて發展して參り、日露戰役後明治の終に至る迄には旅順、大連、安東、營口、奉天、撫順、長春、本溪湖、遼陽、鐵嶺の十都市に事業開發を見大正に入りましては更に開原、瓦房店、大石橋、公主嶺、四平街、范家屯と相次いで滿鐵或は民間の投資による電氣事業會社が設立されたのであります、之と共に關東州內に於ては旅順を始め金州に事業を起されましたが、貔子窩、普蘭店は舊事業者より之を買收し、今日各民政署により經營されて居るものであります

他方露支側に於きましては、明治三十八年東淸鐵道が自家用として哈爾濱に發電設備を施設しましたのが最初でありまして、三十九年には滿洲里に、次いで吉林、奉天、長春と主要都市の事業開始を見たのであります

然るに大正の初から滿洲事變直前までは、支那側の所謂民族運動、利權回收運動が次第に强烈となつた時代でありまして、その餘波が電氣事業にも波及し日本側が正當に獲得した附屬地外の供給權すら悉く拒否せらるる樣な狀態で、之が爲一都市內に於ても、經濟的打算を無視した二重投資が敢て行はれ、日本側事業に壓迫を加へたのであります、斯くして日本側の優秀なる電氣經營技術も僅かに關東州並に滿鐵附屬地の猫額大の地區に蹈 する外なく、前途は誠に憂ふべき狀態に直面して居たのであります、他方支那側は、資本の不足、技術の拙劣その他の事因と相俟つて日と共に事業衰微の機運を釀成しつゝあつたのであります

時恰も昭和六年九月滿洲事變が勃發し、次いで新興滿洲國家の成立を見るや是等日支双方の紛爭禍根は一掃され、先づ關東軍に於きまして滿洲國と協議の結果、多年の懸案でありました全滿電力供給事業の一元的統制が企圖されまして、一統制會社をして經濟的にも、技術的にも最高能率を擧げ得る經營形態に移すと云ふ確固たる方針が樹立せられたのであります、斯くて昭和九年十一月全滿主要都市に於ける電氣事業者が合同され、各地に散在する地方小事業者を其の統制下に置く日滿合辦の滿洲電業株式會社が設立せられたのであります

他方斯る企業統制と相前後しまして周波數の統一、電壓の統制、電氣事業法の統一といふ電氣事業の基本的要素につき劃期的な統制を見ましたことは本統制の實現を一層速かならしめ且合同後の使命遂行を圓滑ならしめた重大事項でありまして我々の深く銘記しなければならぬ點であります

即ち第一の周波數に就て申しますと、日本內地に於きましては大正九年に周波數の統一が政府に於て討議せられ、五十サイクルを適當とするの結論を得たのでありますが、何分既存事業が充分發達を見た後でありますので、未だ實現に至らず、關東は五十サイクル、關西は六十サイクルと兩者が併用されて居り、頗る不利な狀況にありますので滿洲では斯る弊に陷らざる樣、昭和八年四月關東軍より滿洲電氣委員會に諮問がありましたのに對し、慎重審議の結果周波數を五十サイクルに統制することになつたのであります

この周波數統一の結果は中央大發電所の實現とか、或は特別高壓送電線の建設とか、色々と事業の躍進に順應する諸種の計畫を樹立するに有利になりまして、全滿送電網の完成に拍車を加へることになつたのであります

又第二の電壓の統制につきましては、日本電氣工藝委員會及電氣協會標準規格の電壓に準據しまして、之に滿洲の特殊事情を加味し特別高壓送電線路、特別高壓配電線路、高壓配電線路及低壓配電線路とそれぞれ標準電壓が決定せられたのであります

第三の電氣事業法に關しましては、日滿兩國の法規內容に就き相互間に抵觸なき樣完全なる統一を見ることに一決し事業者にとつて最も切實なる問題が解決せられた譯でありまして、關東局に於きましては既にその發布を見て居るのであります（未完）

商況欄（四日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅〇志六片〇〇
紐育金塊	休會
倫敦銀塊	一九片八分七
同先限	一九片一六分三
孟買銀塊	五〇留比四分三
スチール株	八〇弗四分一
アナコンダ株	三九弗四分三

▲市俄古小麥

十二月限	一弗〇八仙八分一
五月限	一弗〇八仙四分三
七月限	一弗〇二仙八分三

▲紐育棉花

現物	八仙四七
十月限	八仙三二
十二月限	八仙一八
一月限	八仙一一
三月限	八仙一二
五月限	八仙一七
七月限	八仙二三

▲印棉

ブローチ	一六六留比
オームラ	一四七留比
ベンゴール	一二八留比

▲カルカッタ麻袋

靑筋	二三留比一六分三
鐵筋	二一留比一六分二

▲外國爲替

英米爲替	四弗九五四五
米日爲替	二八弗九〇四五
米支爲替	二九弗七五仙
英日爲替	一志二片三分三
英支爲替	一志二片八分一
印日爲替	七七留比二分一

▲阪神爲替

	賣	買
對米	二八弗一六分二	二八弗四分三
對英	一志二片〇〇	一志二片〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	一四四〇	一四六〇
日産	六六二〇	六六七〇
鐘紡	三三六〇〇	三三四〇〇
滿鐵	五四七〇	―
大新	八二四〇	八二六〇

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
大新	八二〇〇	八二五〇
新東	一四六三〇	一四五九〇
鐘紡	三三六〇〇	三三五一〇
日産	六六五〇	六六四〇
日魯	六一〇〇	六二三〇

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	一五三〇	一五五〇
豆新	一八七〇	一八七〇
東新	一四六三〇	一四五四〇
日産	六六三〇	六六八〇
滿鐵	五四四〇	五四四〇
同新	四三一〇	四三一〇

▲大連

豆	寄付	大引
現物	七、一八	七、二一
十月限	六、八三	六、八八
十一月限	六、五九	六、六〇
十二月限	六、五〇	六、五五
一月限	六、五六	六、五六
二日	六、五五	六、五五
三節限	―	―

粕	寄付	大引
現物	三、三〇	三、三〇
十月限	三、二〇	三、二〇
十一月限	三、四〇	三、四〇
十二月限	二、九五	二、九五
一月限	二、一〇	二、八五
二月限	―	―

油	寄付	大引
現物	―	―
十月限	―	―
十一月限	―	―
十二月限	一九、一〇	一九、一〇
一月限	―	―
二月限	―	―

お酒は慶典

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
十月限	三三五〇	三三四〇〇
十一月限	三三一〇〇	三三九五〇
十二月限	三三九五〇	三三八四〇
一月限	三三八六〇	三三七七〇
二月限	三三八〇〇	三三七六〇
三月限	三三八三〇	三三六九〇
四月限	三三七六〇	三三六一〇

鐘新	三三六七〇 / 三三四三〇
土木	一三七〇 / 一三六〇
日新	五一三〇 / 五〇三〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	五七九五	五七四〇
先限	六〇四〇	六〇三〇

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	六六〇〇	六六八〇
先限	七一五〇	七一三〇

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	三三三一	三三三一
中限	三三一〇	三三一七
先限	三〇九九	三三一〇

▲橫濱生糸

	寄付	大引
現物	七七〇	―
當限	七七六	―
先限	七三八	―

各地特產市況

▲新京

現物	寄引（一石値段）	出來高
大豆	―	―
高粱	―	―
米高粱	―	―
小豆	―	―
玉蜀黍	―	―

先物 ●大豆	寄引		出來高
十月限	五、九六	五、八七五	一九三車
十一月限	五、九五	五、九七	一三車
●高粱			

白い天使（上海上映）（二二）

林房雄作　吉田眞里畫

終曲（二）

『どうも、あのごろのことをいはれると、シャッポだね。恥かしいから、よしてくれよ……』

『恥かしいは、よかつたね……さきに、此車は、いゝ車だな？』

『いやあ、遺產どころか、兄貴の奴、見事に沒落しやがつてね。

ついでに、ぼくの遺產もつかひこみやがつたもんだから兄弟二人ともすつからかんさだから兄貴が專用にしてゐたこの自動車だけを、やつとのことでふんだくつたのさ。是が、僕の全財產といふ譯さ』

車は、町中にはいつて、はげしい交通の間を、危ふくぬひながら走つてゐる。

『おい、ちよいとまてよ、こゝにゐてはさうも話し憎い』

さういひながら、篠田は、仕切をのりこえて、秀夫の橫に座つた。

『兄貴が沒落したつて、會社でも破產したのかい？』

『いやあ、會社は破產しないのだが、兄貴だけが、合理化されちまつたのさ』

『合理化された？――どういふ意味だい？』

『だつてさうぢやないか？――兄貴があまり無理なので、重役會議があいそをつかしておつぽりだしてしまつたのさ企業をひきしめて、できるだけむだをはぶかうといふのが合理化だらう。

兄貴の奴、そのむだな男の代表者として拂はれたのだ。兄貴自身、ひごろから合理化論者で自任してゐて、フォードの產業哲學がなんだかんだと、大きなことをいつてゐただけに、さつそく、ご本人がやられてしまつたのだからわらはせるね』

自動車は、もう、[illegible]市內に入つて、新宿の大通りを走つてゐる。

『ところで、兄貴は、今はどうしてゐるのだい？』

『まづ、ルンペン實業家といふところだね。

ふしぎなもので、いちど社長の椅子などにつくと、どうしても人に使はれる氣はしないらしいのだね。

やつぱり企業家きどりで、なんだか、かだか、インチキ事業を次から次と計畫してゐるよ。

……相棒に福井辰馬といふやつがゐるがね。そいつをある金かしのでもどり娘と結婚させてさ。二人でぐるになつて娘の親父から金をひきだしては、なにかやつてゐるらしいのだが、もとよりうまくゆくはずがない。だんだん人柄がわるくなつて、近頃は、まるで惡性のイカサマ師みたいになつてしまつてゐるよ』

『そんなものかなあ』

『兄貴としては、ほかにおちつくところもなからう。

しかし、考へてみれば、ぼくなんかも、二年前に、君にあつたときのまゝでのらくらと成長してゐたら、それこそ社會の餘計者で兄貴よりはもつと無能な男なのだから、今ごろは、すつかりゆきづまつて、三原山にでもとびこみ自殺をやつてゐたかもしれなかつた。

きみにあつたおかげで、とにかく、かうして働くこともおぼえた。世の中の見とほしも少しはついたし、有難いと思つてゐるよ！』

『おれのおかげだかどうかしらないが、おまへが、一人前の仕事ができるやうになつたのは、おれもうれしいよ。どうだ、近頃は組合の方の仕事はうまくいつてるかい？』

『あゝ、一進一退だが、とにかく進んでゐるよ。新しい狀勢も現れてゐるしね、いろいろ君にきいて貰ひたい事があるが、そいつはあさてゆつくり話さうよ』

新京區公示第二十二號

新京附屬地荷馬車通行取締規定左記ノ通制定セラレタルニ付公示ス

昭和十二年十月一日

南滿洲鐵道株式會社　新京支社地方課長事務取扱　菅野誠

記

一、新京附屬地道路ヲ專用道路ト制限道路ノ二種ニ區分シ左記ニ依リ荷馬車ノ通行ヲ制限ス
一、專用道路ハ荷馬車ノ種類索引馬ノ頭數ヲ問ハス自由ニ通行シ得ルモノトス
二、制限道路ハ鐵輪荷馬車ノ通行ヲ絕對ニ禁止シ左記ニ該當スル荷馬車ノミ通行ヲ許可ス
イ、ゴム輪（又ハ之ニ準スルモノ）ナルコト
ロ、積載量壹噸半以下ナルコト
ハ、索引馬ノ頭數ハ壹輛ニ付壹頭ナルコト
三、但シ驛前廣場ノミハ荷馬車ノ通行ヲ禁止ス
四、六米突以上ノ長大物ヲ運搬スル場合ハ荷馬車ノ種類通行道路ノ如何ヲ問ハス警察署ノ許可ヲ受クヘシ
五、荷馬車以外ノモノニシテ道路ヲ破損セシメ又ハ通行妨害ノ虞アルモノノ通行ニハ許可ヲ受クヘシ
本規定ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十二年十月一日

新京警察署
滿鐵新京支社